

2014年度（15年3月期） 決算概要

2015年4月28日

日本電気株式会社

(<http://jpn.nec.com/ir>)

目次

I. 2014年度 決算概要

II. 2015中期経営計画の進捗 (2015年度 業績予想)

- 2014年度 決算概要 (補足)
- 2015年度 業績予想 (補足)
- 2015中期経営計画の進捗 (補足)
- 参考資料 (業績データ)

I. 2014年度 決算概要

2014年度の成果と課題

成果

- **社会ソリューション事業への注力**
 - SDN、クラウド、ビッグデータ、セーフティなど注力領域での実績獲得
- **グローバル成長基盤の確立**
 - 大型受注案件獲得、新たな事業領域への参画
- **安定的な財務基盤の確立**
 - NECフィールドディングの完全子会社化、開発・生産拠点の再編、業務改革推進プロジェクトへの着手

課題

- **成長戦略の具体化と加速**
 - 海外・注力領域での重点投資の継続、強化
- **収益性改善に向けた取り組み強化**
 - “業務改革推進プロジェクト”による業務効率の向上とコスト圧縮

SDN : Software-Defined Networking

2014年度 概況サマリー

売上高

前年度比 $\Delta 3.5\%$
 期初計画比 $\Delta 645$ 億円

- 現事業ベースで約2%の増収
 - パブリックが大幅増収、テレコムキャリアも増収
- NECビッグロープの非連結化でその他が減収

営業利益

前年度比 +219億円
 期初計画比 +81億円

- 3期連続で会社計画を過達
 - 5セグメント全てで増益、パブリックが牽引
 - 携帯電話端末事業の損益改善

当期純利益

前年度比 +236億円
 期初計画比 +223億円

- 3期連続で、会社計画過達 / 前年度比増益
 - NECフィールディングの完全子会社化に伴う少数株主持分の取り込みも寄与
- 期末配当4円を決定

2014年度 実績サマリー

(単位:億円)

	第4四半期 <1~3月>			通期			1/29 予想比
	13年度 実績	14年度 実績	前年 同期比	13年度 実績	14年度 実績	前年度比	
売上高	9,596	9,335	△ 2.7%	30,431	29,355	△ 3.5%	△ 645
営業利益 対売上高比率(%)	825 8.6%	924 9.9%	+ 100	1,062 3.5%	1,281 4.4%	+ 219	+ 81
経常利益 対売上高比率(%)	637 6.6%	757 8.1%	+ 121	692 2.3%	1,121 3.8%	+ 430	+ 221
当期純利益 対売上高比率(%)	488 5.1%	345 3.7%	△ 143	337 1.1%	573 2.0%	+ 236	+ 223
フリー・キャッシュ・フロー	1,493	1,161	△ 332	552	404	△ 148	

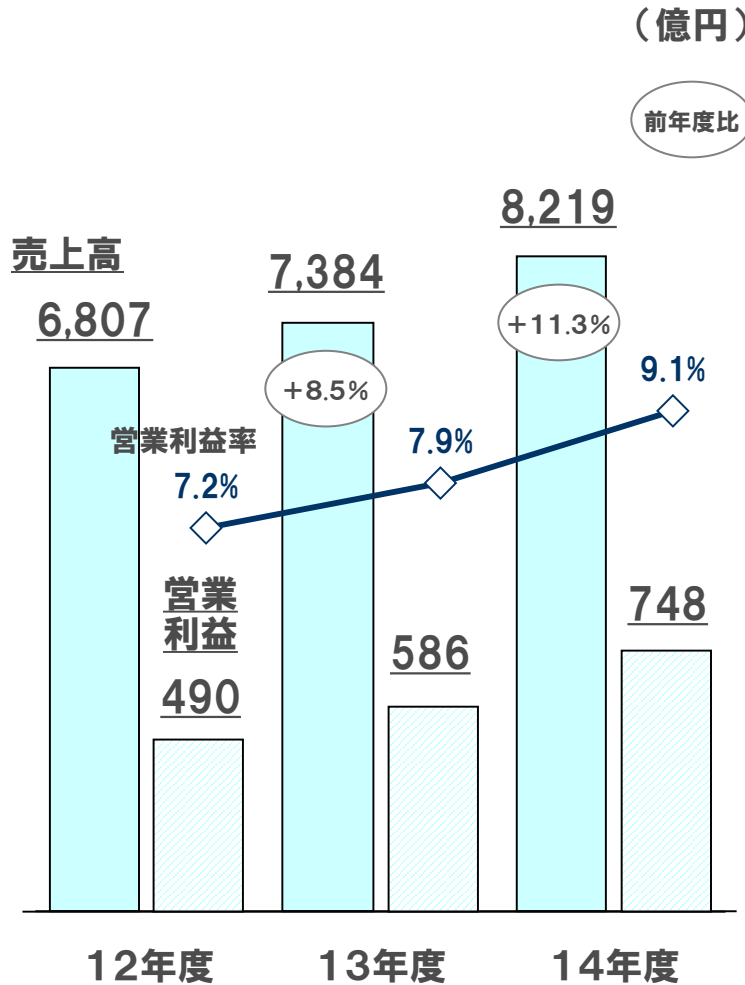
参考：第4四半期（1～3月）の売上平均為替レート（実績）1ドル=118.78円、1ユーロ=139.75円
（14年度4Qの為替レート前提 1ドル=115円、1ユーロ=140円）

14年度年間の売上平均為替レート（実績）1ドル=108.42円、1ユーロ=139.68円
（13年度年間の売上平均為替レート（実績）1ドル=99.61円、1ユーロ=132.83円）

セグメント別 2014年度実績

(単位:億円)

		第4四半期 <1~3月>			通期			1/29 予想比
		13年度 実績	14年度 実績	前年 同期比	13年度 実績	14年度 実績	前年度比	
パブリック	売上高	2,710	2,959	+ 9.2%	7,384	8,219	+ 11.3%	+ 219
	営業利益	265	371	+ 106	586	748	+ 162	+ 18
	営業利益率(%)	9.8%	12.5%		7.9%	9.1%		
エンタープライズ	売上高	815	826	+ 1.3%	2,723	2,705	△ 0.7%	△ 45
	営業利益	60	55	△ 5	65	83	+ 18	△ 7
	営業利益率(%)	7.4%	6.7%		2.4%	3.1%		
テレコムキャリア	売上高	2,190	2,369	+ 8.2%	7,258	7,402	+ 2.0%	△ 299
	営業利益	285	366	+ 80	603	620	+ 16	△ 40
	営業利益率(%)	13.0%	15.4%		8.3%	8.4%		
システム プラットフォーム	売上高	2,443	2,130	△ 12.8%	7,808	7,289	△ 6.6%	△ 461
	営業利益	209	183	△ 26	307	314	+ 7	△ 36
	営業利益率(%)	8.6%	8.6%		3.9%	4.3%		
その他	売上高	1,437	1,051	△ 26.9%	5,259	3,741	△ 28.9%	△ 59
	営業損益	96	99	+ 3	△ 14	40	+ 54	+ 30
	営業利益率(%)	6.7%	9.4%		-0.3%	1.1%		
消去・配賦不能	営業損益	△ 91	△ 149	△ 58	△ 486	△ 524	△ 38	+ 116
	売上高	9,596	9,335	△ 2.7%	30,431	29,355	△ 3.5%	△ 645
	営業利益	825	924	+ 100	1,062	1,281	+ 219	+ 81
合 計	営業利益率(%)	8.6%	9.9%		3.5%	4.4%		



売上高 8,219億円 (+11.3%)

△ 官公向け、公共向けを中心に増加

営業利益 748億円 (+162億円)

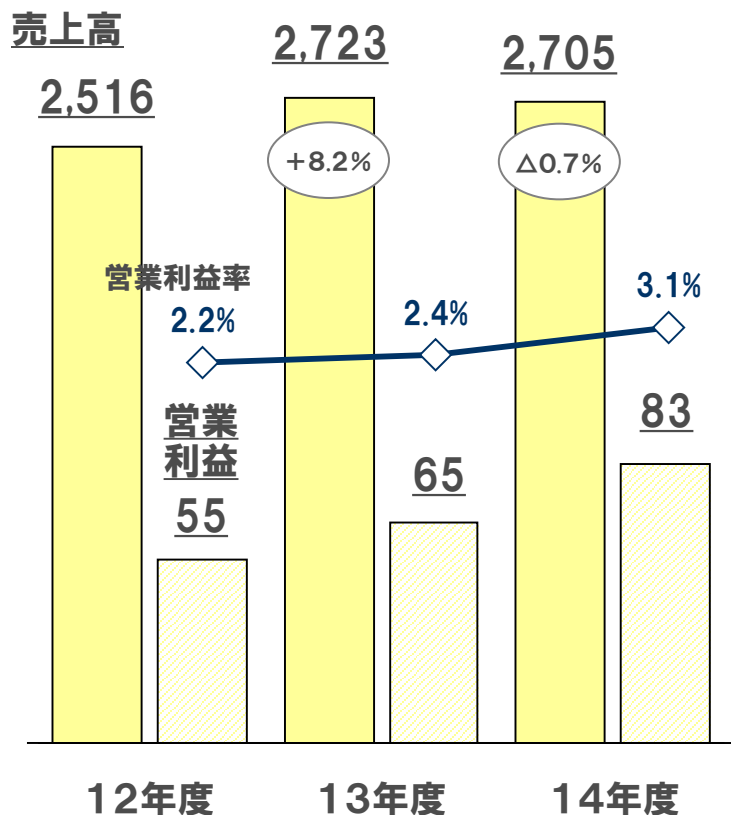
△ 売上増、不採算案件の減などにより増益



※ カッコ内の%は前年度比

(億円)

前年度比

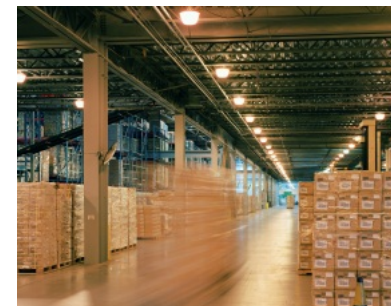


売上高 2,705億円 (Δ0.7%)

▽ 流通・サービス業向けは堅調に推移も
製造業向けが減少

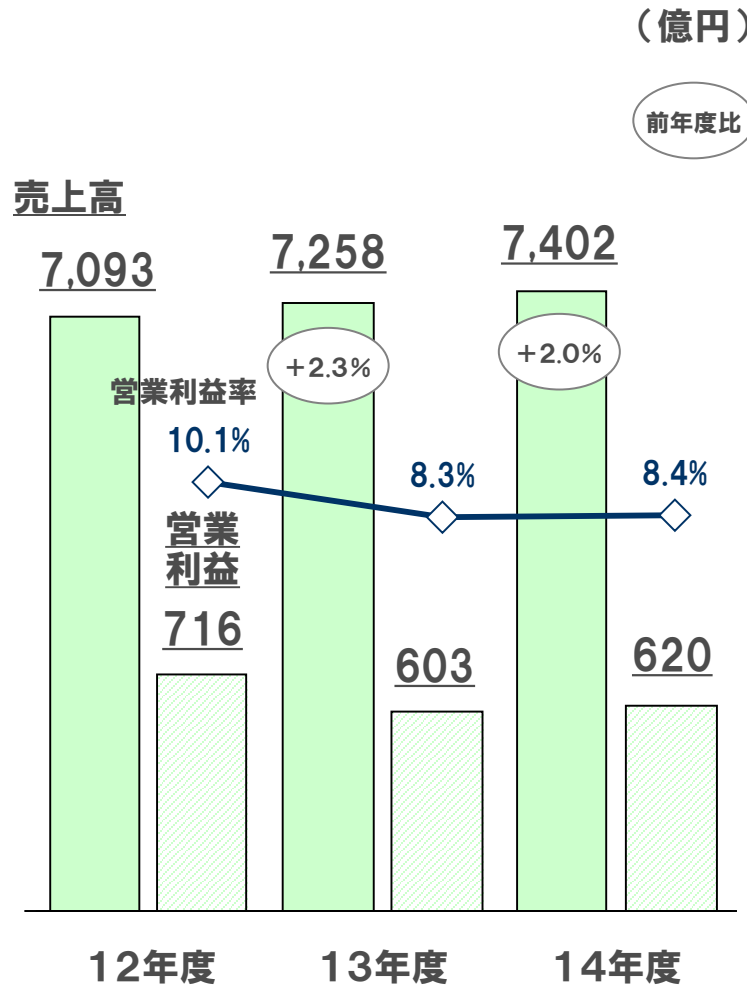
営業利益 83億円 (+18億円)

△ 売上減も費用効率化や収益性改善
などにより増益



※ カッコ内の%は前年度比

テレコムキャリア



売上高 7,402億円 (+2.0%)

- ▷ 国内は横ばい
- △ 海外は海洋システム、モバイルバックホールなどで増加

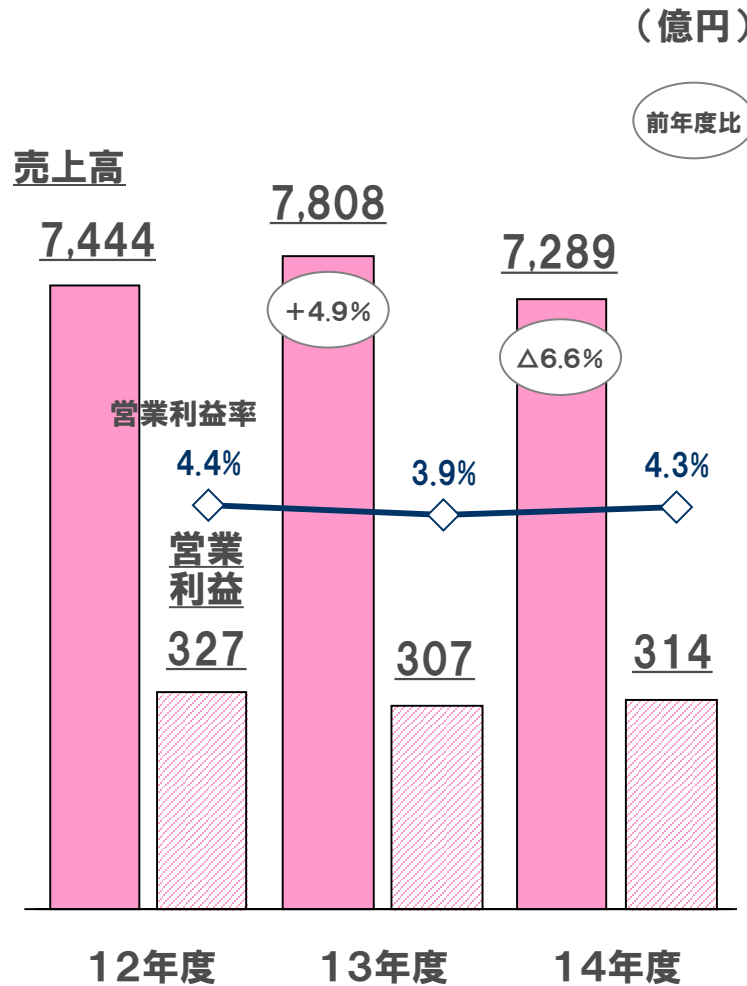
営業利益 620億円 (+16億円)

- △ 海外を中心とした売上増により増益



※ カッコ内の%は前年度比

システムプラットフォーム



売上高 7,289億円 (Δ6.6%)

▽ ビジネスPCの減少により減収

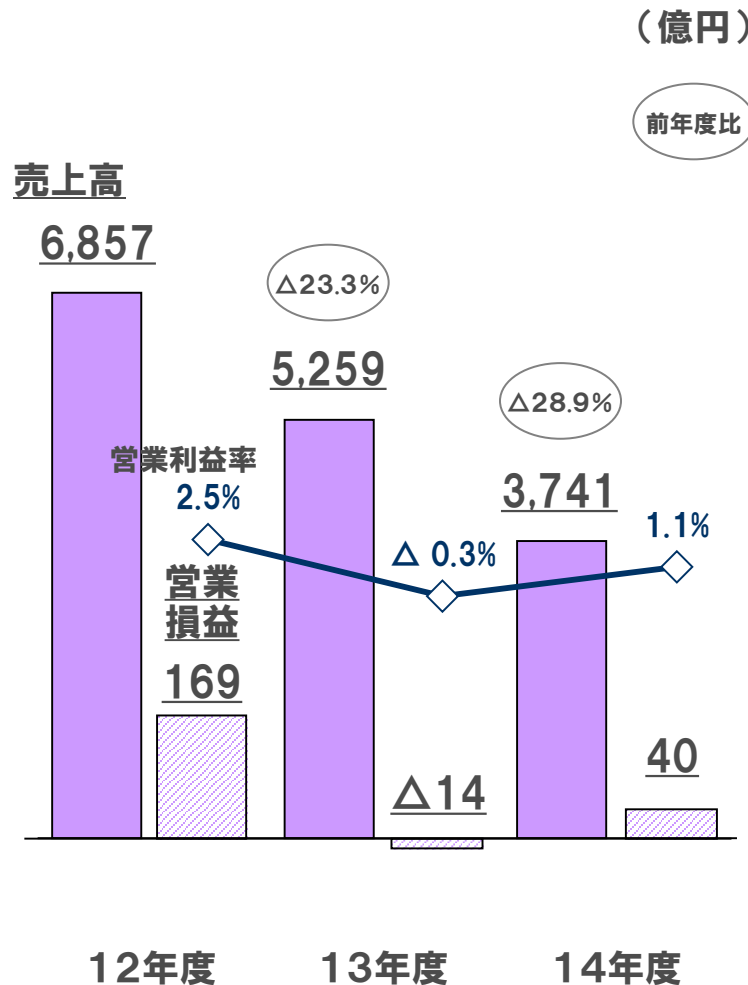
営業利益 314億円 (+7億円)

△ 売上減もNECフィールドイングおよびNECプラットフォームズの統合効果などにより増益



※ カッコ内の%は前年度比

その他



売上高 3,741億円 (△28.9%)

▽ NECビッグロープの株式売却に伴う非連結化などにより減少

営業損益 40億円 (+54億円)

△ 事業の非連結化の影響があるものの、携帯電話端末事業の改善などにより増益

※ カッコ内の%は前年度比

当期純利益増減 (前年度比)

1/29
予想比

偶発損失引当金繰入額	+56
持分法による投資利益	+54
為替差益	+39

関係会社株式売却益	△522
事業構造改善費用	+135
少数株主損益	+92
減損損失	+70

(億円)

営業外損益改善
+211

+140

その他
△194

+2

14年度
573

13年度
337

営業利益改善
+219

+81

パブリック	+162
その他	+54
エンタープライズ	+18
テレコムキャリア	+16
システムプラットフォーム	+7
消去・配賦不能	△38

II. 2015中期経営計画の進捗 (2015年度 業績予想)

中期経営方針

(1) 社会ソリューション事業への注力

→ 社会価値創造型企業への変革

- ICTによる社会インフラ高度化事業に経営資源を集中
- 社会課題の解決を成長機会と捉え、新たなビジネスモデルを確立

(2) アジアへの注力、現地主導型ビジネスの推進

→ グローバルで戦える成長基盤を確立

- アジアを中心とした新興国、発展途上国に注力
- 現地ニーズに対する感度を高め、事業スピードをアップ

(3) 安定的な財務基盤の構築

- コスト競争力の強化
- 営業利益1,500億円、FCF1,000億円を創出する収益構造の確立
- ハイブリッド・ファイナンスによる財務余力の確保



営業利益率5%、海外売上比率25%の早期実現を目指す

※ 予想値は、2013年4月26日現在

2015中期経営計画のステップ

**13年度
準備の年**

**14年度
実績の年**

**15年度
成長の年**

お客様起点の
組織体制への再編

グローバルビジネス
推進機能の強化

ハイブリッド
ファイナンス

成長領域への注力

新事業メッセージと
7つのテーマ策化

グローバル
競争力強化

企業文化の再構築

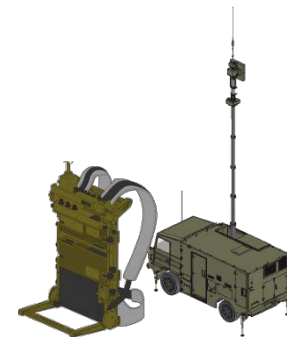


中期経営計画策定時からの環境変化

好転

● 国内の公共インフラ投資需要の拡大

- 野外通信システム、消防デジタル無線／指令システム、マイナンバー制度関連など大型案件を獲得



課題

● キャリア向けSDN、エネルギーの市場立ち上がり遅れ

- SDN導入へのグローバルキャリアの高い関心は継続
- エネルギー市場は、電力システム改革に向けて今後拡大の見通し

● 円安に伴う資材費上昇インパクト

業績予想サマリー

増収増益で当期純利益650億円の達成を目指す

- 15年度の業績予想を確実に達成し、2015中期経営計画の実現にチャレンジ

(単位:億円)

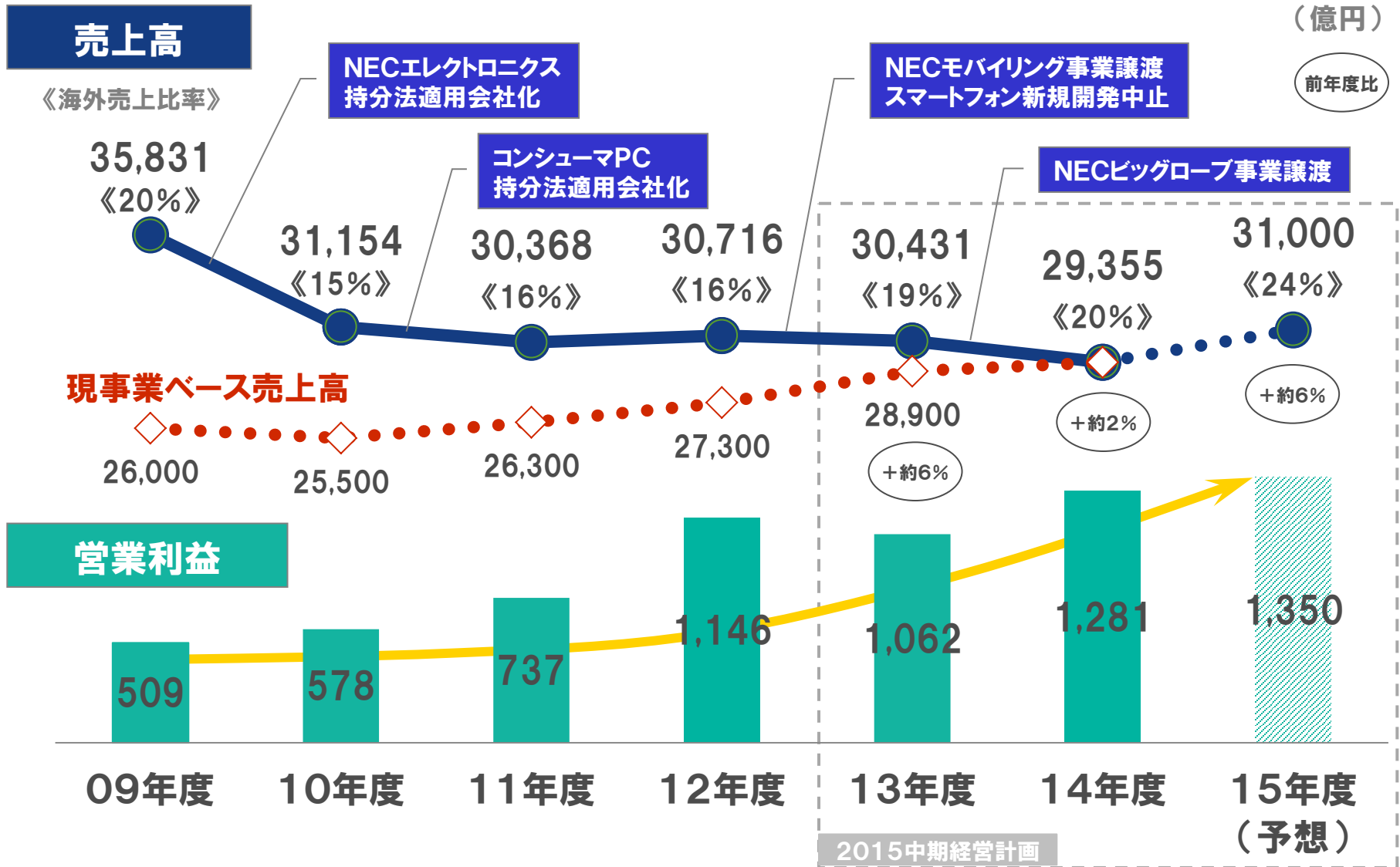
	通期				15年度 予想/ 中計比
	13年度 実績	14年度 実績	15年度 予想	14-15 前年度比	
売上高	30,431	29,355	31,000	+ 5.6%	△ 1,000
営業利益	1,062	1,281	1,350	+ 69	△ 150
対売上高比率(%)	3.5%	4.4%	4.4%		
経常利益	692	1,121	1,200	+ 79	-
対売上高比率(%)	2.3%	3.8%	3.9%		
当期純利益	337	573	650	+ 77	+ 50
対売上高比率(%)	1.1%	2.0%	2.1%		
フリー・キャッシュ・フロー	552	404	800	+ 396	△ 200
ROE	4.8%	7.5%	8%	-	△ 2pt

		通期			
		13年度 実績	14年度 実績	15年度 予想	14-15 前年度比
パブリック	売上高	7,384	8,219	8,650	+ 5.2%
	営業利益	586	748	860	+ 112
	営業利益率(%)	7.9%	9.1%	9.9%	
エンタープライズ	売上高	2,723	2,705	2,900	+ 7.2%
	営業利益	65	83	110	+ 27
	営業利益率(%)	2.4%	3.1%	3.8%	
テレコムキャリア	売上高	7,258	7,402	7,800	+ 5.4%
	営業利益	603	620	640	+ 20
	営業利益率(%)	8.3%	8.4%	8.2%	
システム プラットフォーム	売上高	7,808	7,289	7,600	+ 4.3%
	営業利益	307	314	330	+ 16
	営業利益率(%)	3.9%	4.3%	4.3%	
その他	売上高	5,259	3,741	4,050	+ 8.2%
	営業損益	△ 14	40	40	0
	営業利益率(%)	-0.3%	1.1%	1.0%	
消去・配賦不能	営業損益	△ 486	△ 524	△ 630	△ 106
合計	売上高	30,431	29,355	31,000	+ 5.6%
	営業利益	1,062	1,281	1,350	+ 69
	営業利益率(%)	3.5%	4.4%	4.4%	

参考：15年度の為替レート前提 1ドル=115円、1ユーロ=130円

※ 中計値は、2013年4月26日発表、予想値は、2015年4月28日現在、15年度予想の「当期純利益」は、親会社株主に帰属する当期純利益の金額を表示

業績の推移



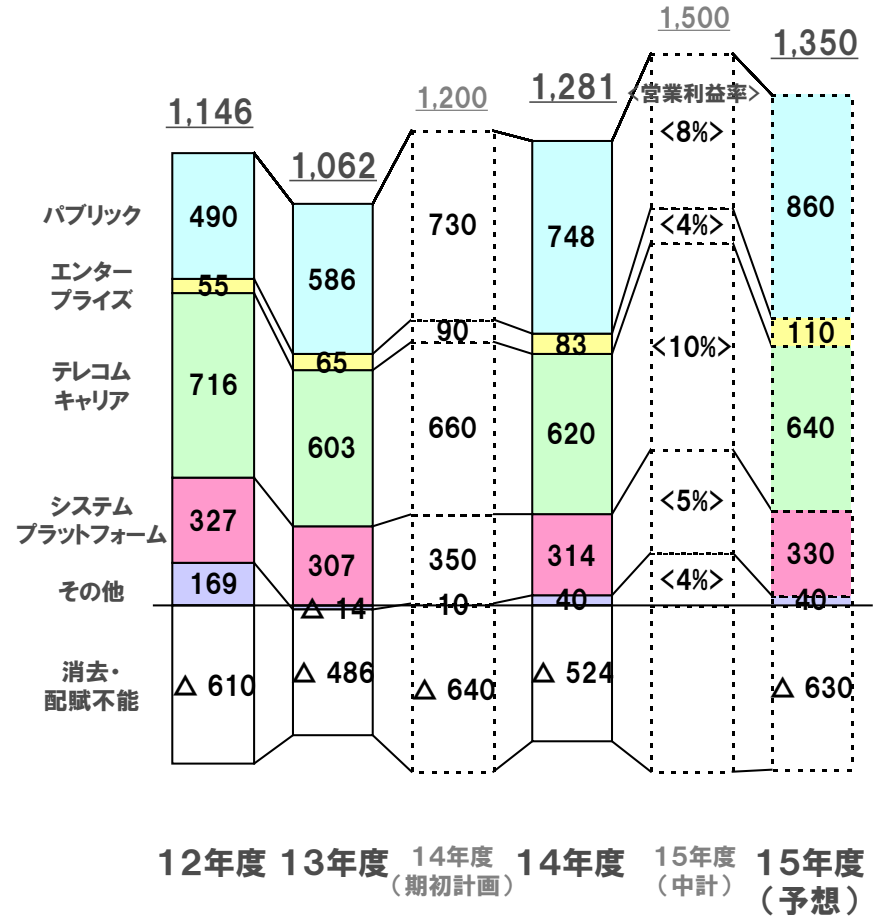
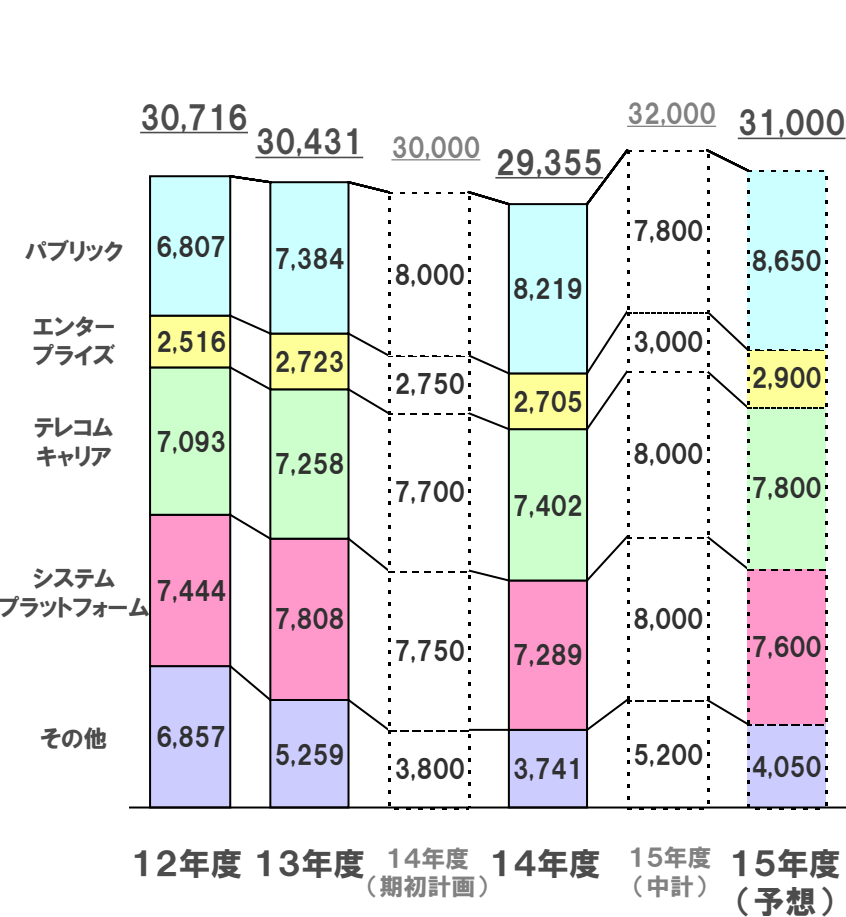
※ 予想値は、2015年4月28日現在

セグメント別 実績・中期経営計画・予想

売上高

営業損益

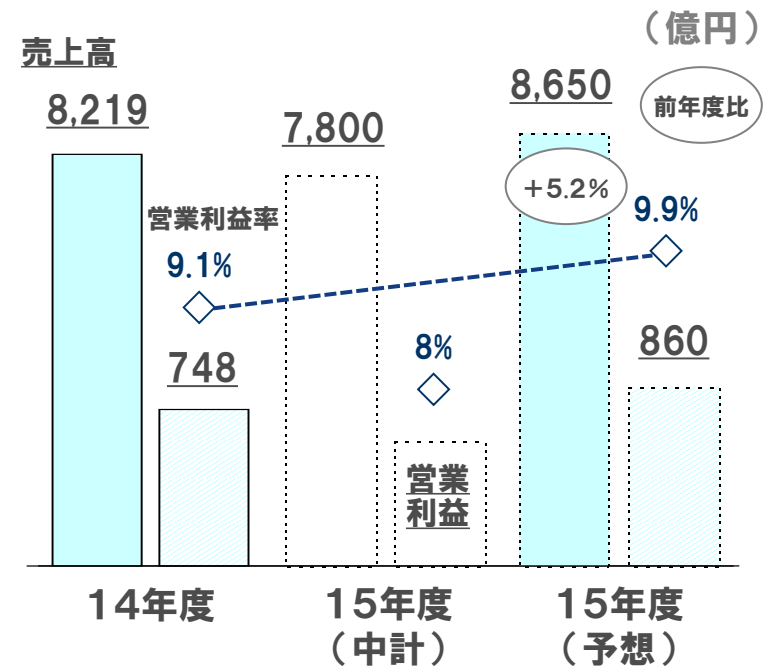
(億円)



※ 中計値は、2013年4月26日発表、予想値は、2015年4月28日現在

国内の安定事業基盤のもと、海外成長にも注力

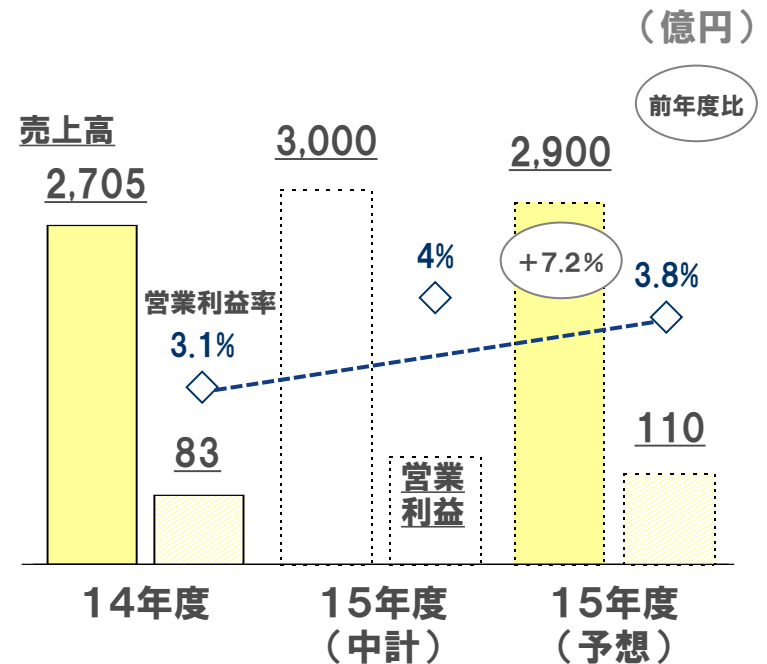
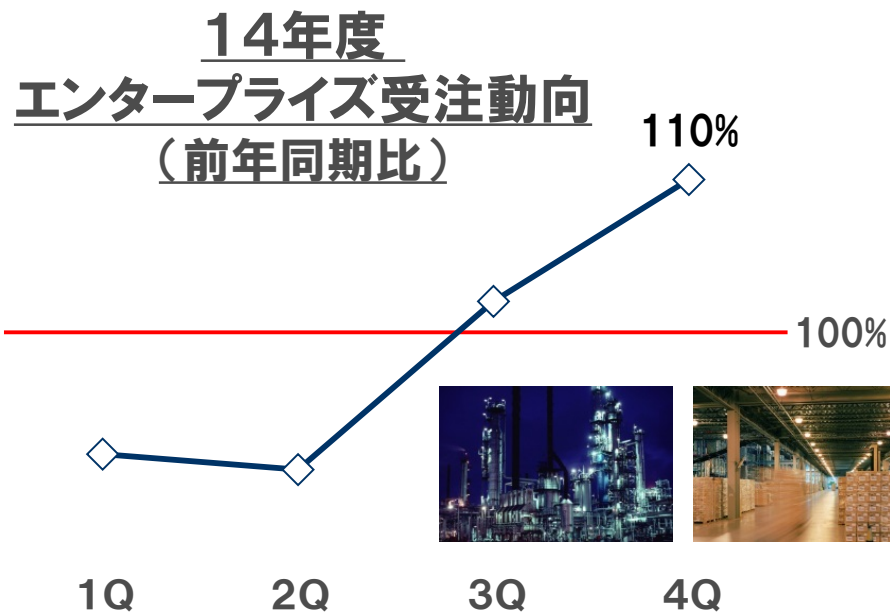
- 強いアセットと市場機会を活かした大型案件の創生
- マイナンバー制度対応、東京オリンピック／パラリンピック関連、顔認証システムや群衆行動解析など各種ビッグデータ活用による安全・安心な社会づくりへの貢献
- グローバル事業基盤の確立
- 重要施設向け安全運転支援システム、水マネジメント、空港トータルソリューションなど
- 認証ソリューション、サイバーセキュリティなど



※ 中計値は、2013年4月26日発表、予想値は、2015年4月28日現在

足もとの受注は回復傾向、収益性改善に注力

- 15年度は、製造業向け、流通・サービス向けともに前年度比で増加を見込む

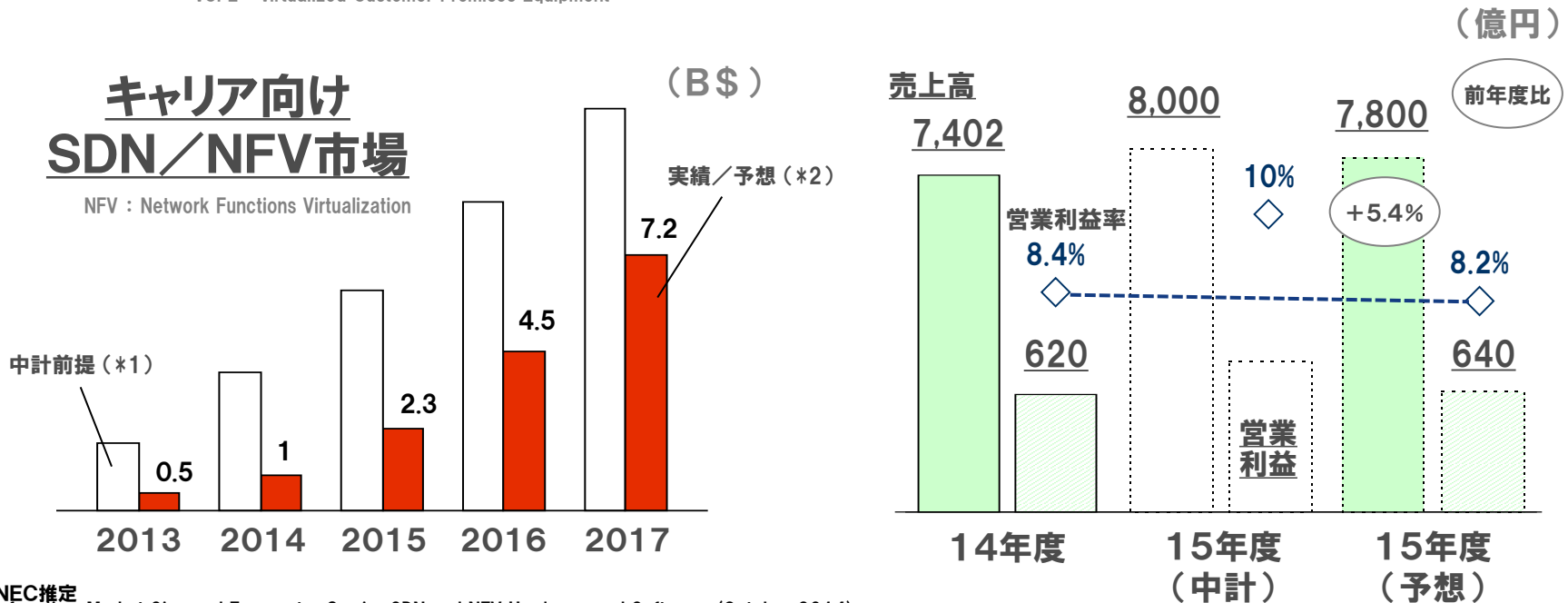


※ 中計値は、2013年4月26日発表、予想値は、2015年4月28日現在

SDN商用化の遅れも、ネットクラッカー社とのグローバル拡販体制強化により、案件拡大に注力

- テレフォニカのブラジル子会社「テレフォニカブラジル (Vivo)」においてvCPEサービスの商用ネットワークによる大規模トライアルを4月開始

vCPE : virtualized Customer Premises Equipment



*1 NEC推定
*2 Infonetics, Market Size and Forecast : Carrier SDN and NFV Hardware and Software (October 2014)

※ 中計値は、2013年4月26日発表、予想値は、2015年4月28日現在

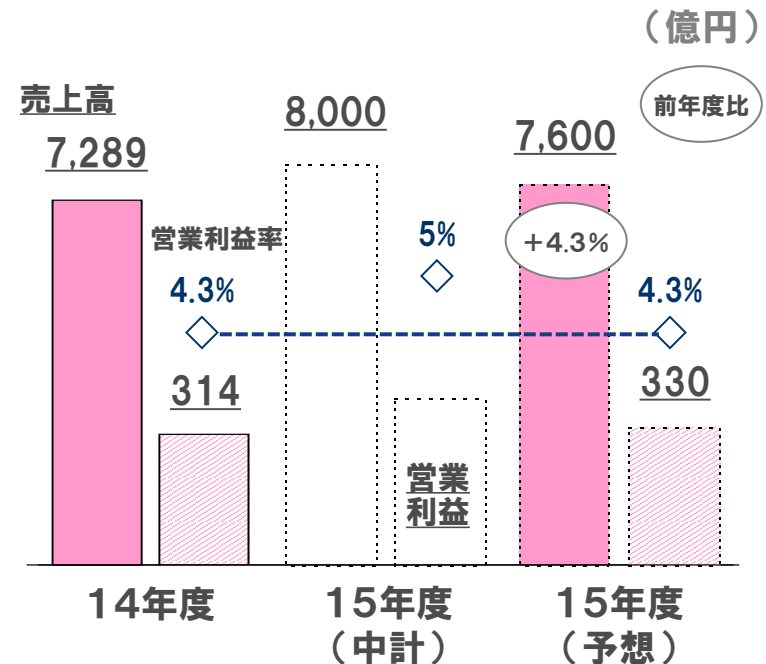
システムプラットフォーム

■ 新たなグローバルビジネスモデル展開の遅れ、
円安への対応不足などに課題

■ ソリューションプラットフォームの拡大に注力

- マイナンバー需要、
WindowsServer2003の
更新需要の取り込みに注力
- 国内SDN市場を引き続き牽引、
海外市場への横展開開始
- 次期中期経営計画に向けて、
IoT時代を牽引する
新たなプラットフォーム構築に注力

IoT : Internet of Things



※ 中計値は、2013年4月26日発表、予想値は、2015年4月28日現在

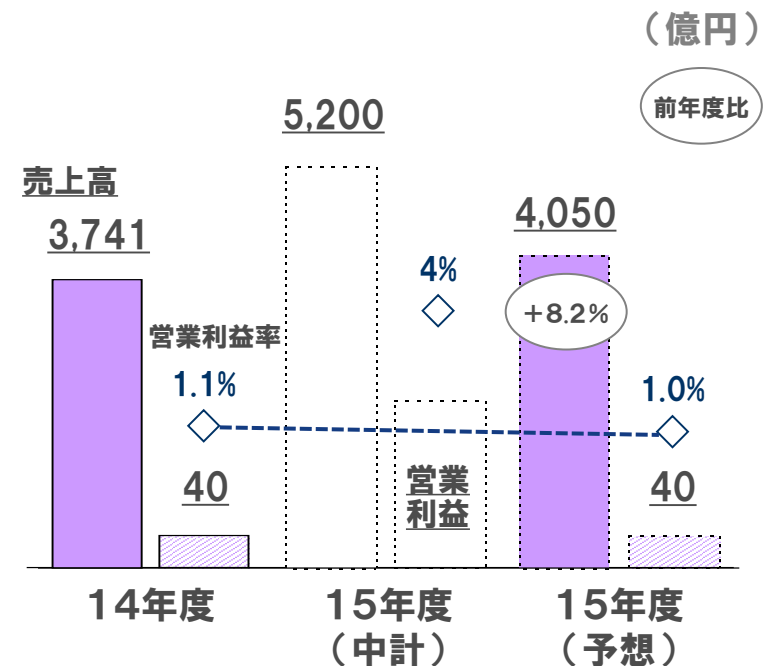
NECビッググローブの非連結化の影響

エネルギー事業における市場形成・市場立ち上がり遅れ

《エネルギー事業の施策》

電力システム改革への対応

- 新電力事業者向け
パッケージソフトを活用した
SI拡販
- ICTとエネルギー技術を融合させた
蓄電システムの拡販
- 再生可能エネルギーの
接続保留問題の解消



※ 中計値は、2013年4月26日発表、予想値は、2015年4月28日現在

海外・注力領域での戦略投資の継続・強化

注力領域の成長、海外売上高比率25%の早期実現に向けて、SDN、エネルギーなどで追加投資

GSD、海外SI強化など

GSD : Global Safety Department



セーフティ

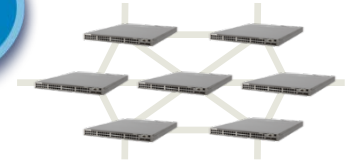
クラウド

ビッグ
データ

サイバー
セキュリティ

戦略投資
+150億円
(前年度比)

SDN



グローバル市場開拓費など

エネルギー

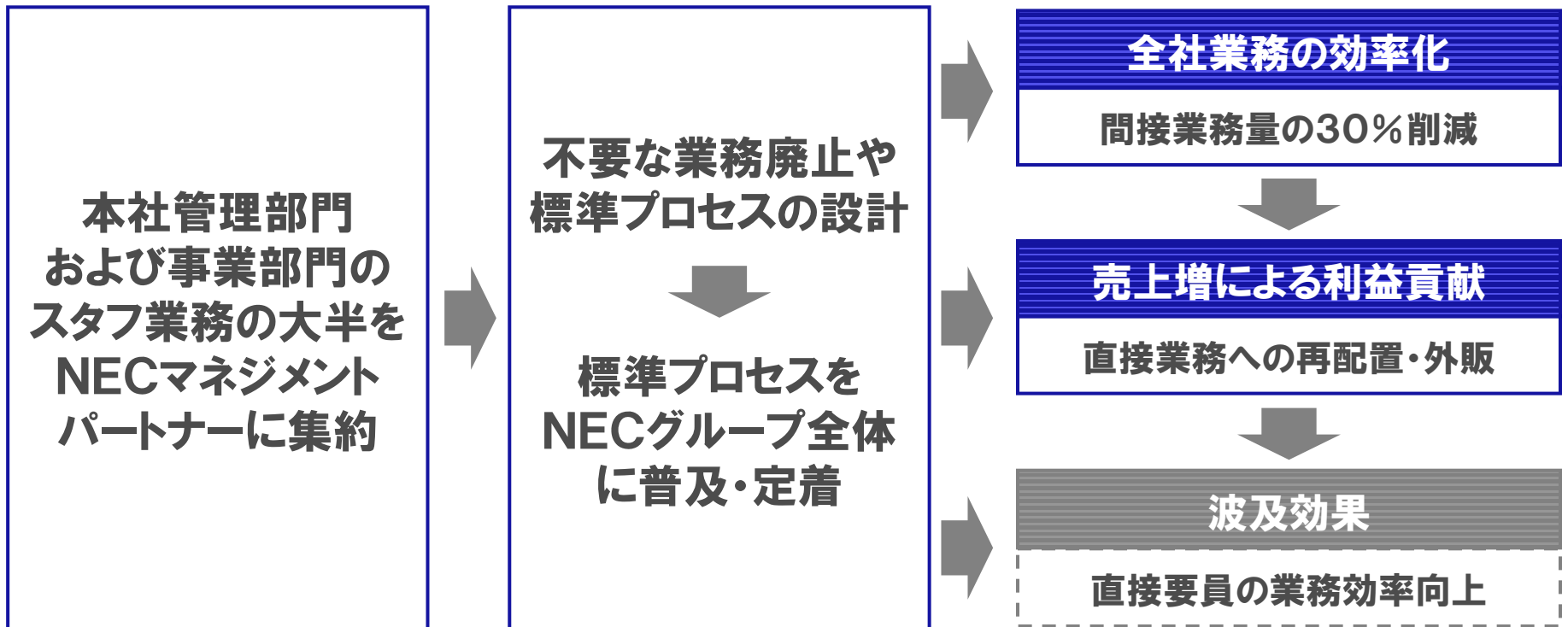


前年度比で150億円増の戦略投資実行

※ 重点投資は各セグメントの業績予想に織り込み済。予想値は、2015年4月28日現在

業務改革推進プロジェクト

業務プロセス最適化に向けた全社業務改革の実行



グローバルに競争力のある企業への変革を目指す

※ 予想値は、2015年4月28日現在

社会ソリューション事業への注力

SDN

- グローバルキャリア向け提案・実証実験による事業化加速
- 企業・官公庁・データセンター向け導入事例の拡大

クラウド

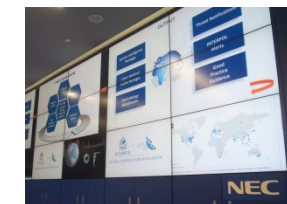
- 神奈川データセンターの始動、NEC Cloud IaaS案件の獲得

ビッグデータ

- 中国電力へ「大規模プラント故障予兆監視システム」納入
- 北米で「漏水監視サービス」の実証実験獲得

セーフティ

- サイバーセキュリティ・ファクトリーの本格稼働
- 米国国立標準技術研究所（NIST）の顔認証・指紋認証技術ベンチマークテストで第1位
- 豊島区で、世界初の「群衆行動解析技術」を用いた総合防災システムを構築
- インターポール・デジタル犯罪捜査支援センターの中核システム納入



グローバル成長基盤の確立

テレコムキャリア領域

- 海底ケーブル大型案件獲得
 - 世界初の南大西洋横断光海底ケーブルの契約を締結
- ザンビア ザムテル社からのマイクロ無線案件受注
- スイスコム主要サービス部門へのOSS展開プロジェクトを完了
 - 更に共同で次世代TOMS、MANOの適用拡大を検討



OSS : Operation Support System
TOMS : Telecom Operations & Management Solutions
MANO : Management and Network Orchestration

新たな事業領域への参画

- アルゼンチン ティグレ市の監視システムに顔認証を導入
- バングラデシュ ダッカ市の交通料金システム
- オーストラリアでのマネージド・サービス案件獲得
- スペイン サンタンデル市のゴミ収集管理サービスの高度化事業に参画



**2015中期経営計画の最終年度、
2015年度は“成長の年”**

**4年連続で年間計画を確実に達成して
安定的な配当継続から増配を実現へ**

**国際財務報告基準（IFRS）については、
2017年3月期からの任意適用に向けて準備を開始**

※ 予想値は、2015年4月28日現在

Orchestrating a brighter world

世界の想いを、未来へつなげる。

未来に向かい、人が生きる、豊かに生きるために欠かせないもの。
それは「安全」「安心」「効率」「公平」という価値が実現された社会です。

NECは、ネットワーク技術とコンピューティング技術をあわせ持つ
類のないインテグレーターとしてリーダーシップを発揮し、
卓越した技術とさまざまな知見やアイデアを融合することで、
世界の国々や地域の人々と協奏しながら、
明るく希望に満ちた暮らしと社会を実現し、未来につなげていきます。

Empowered by Innovation

NEC

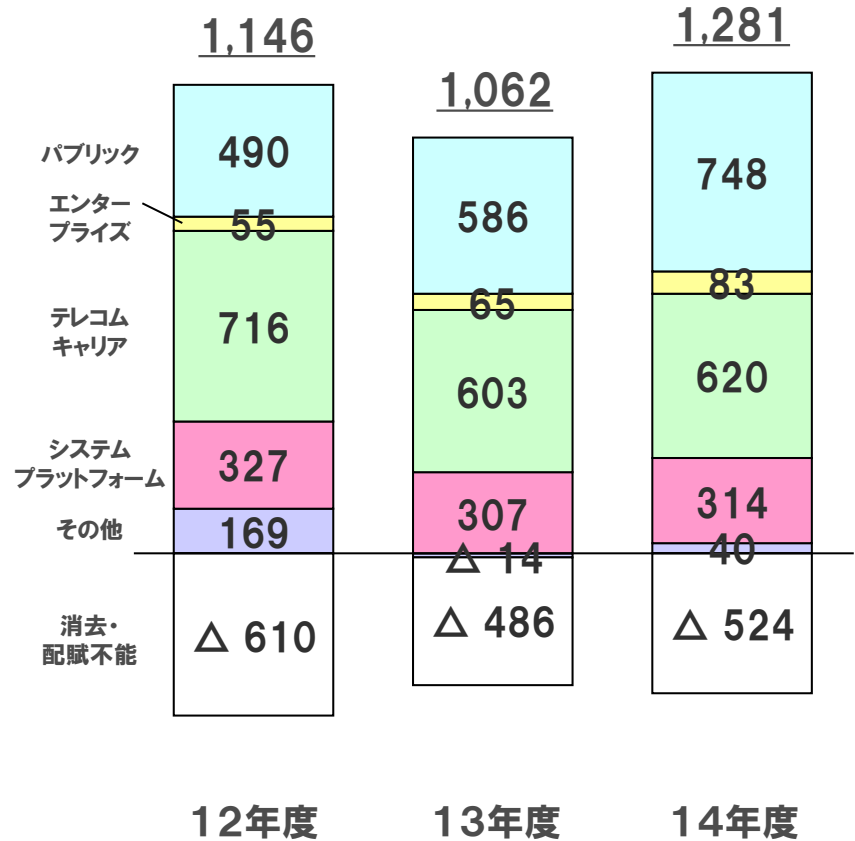
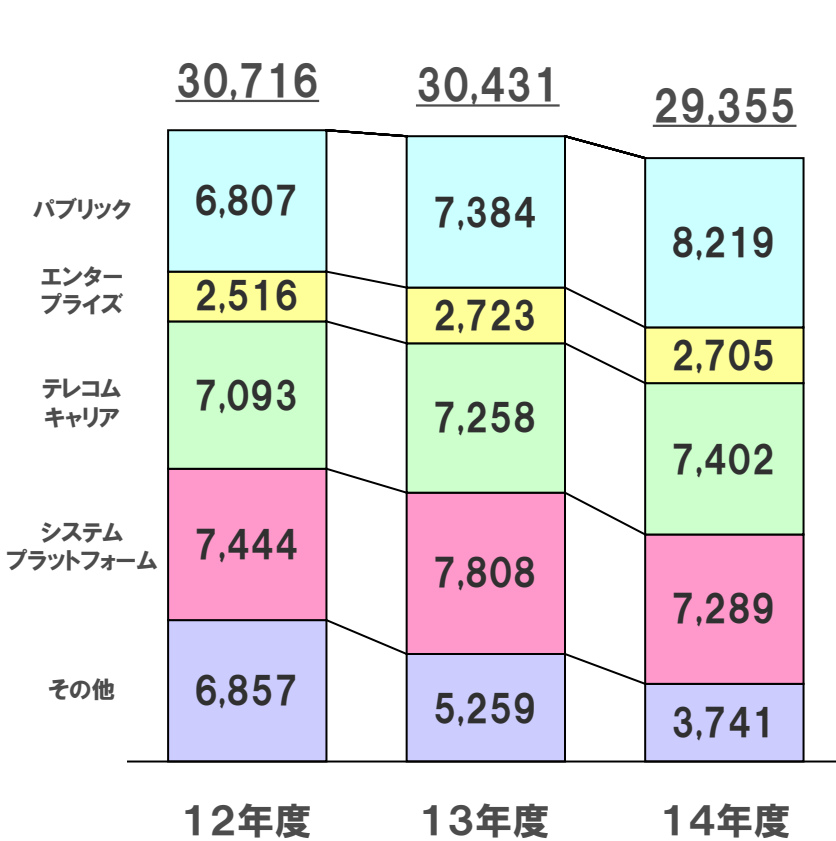
2014年度 決算概要（補足）

セグメント別 実績 (3カ年推移)

(億円)

売上高

営業損益

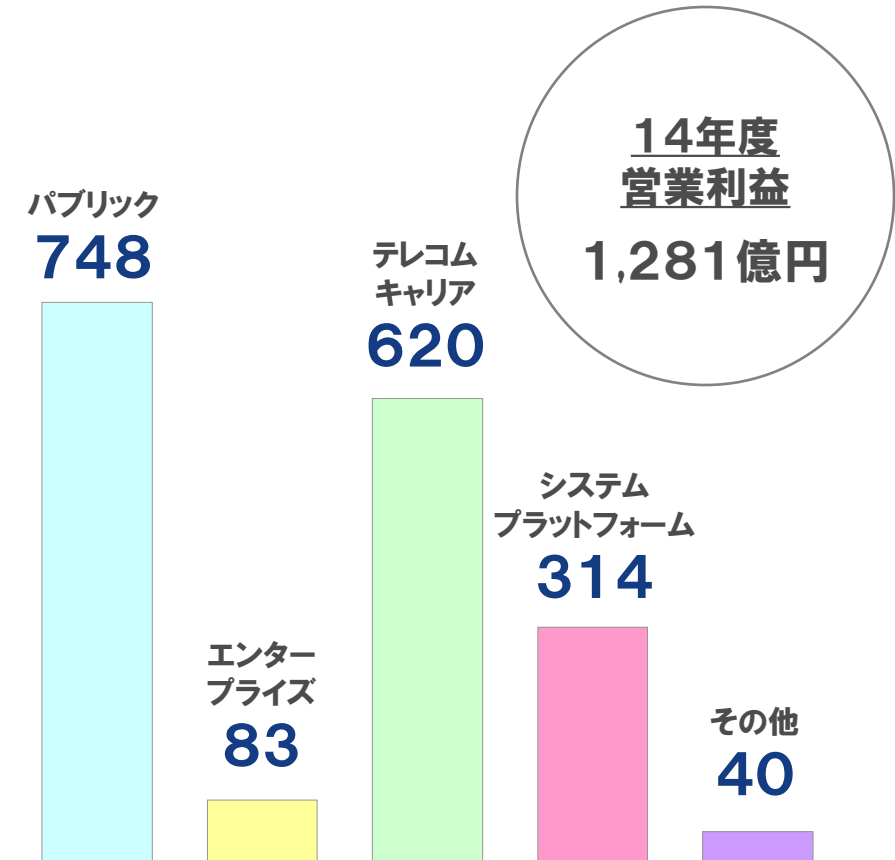
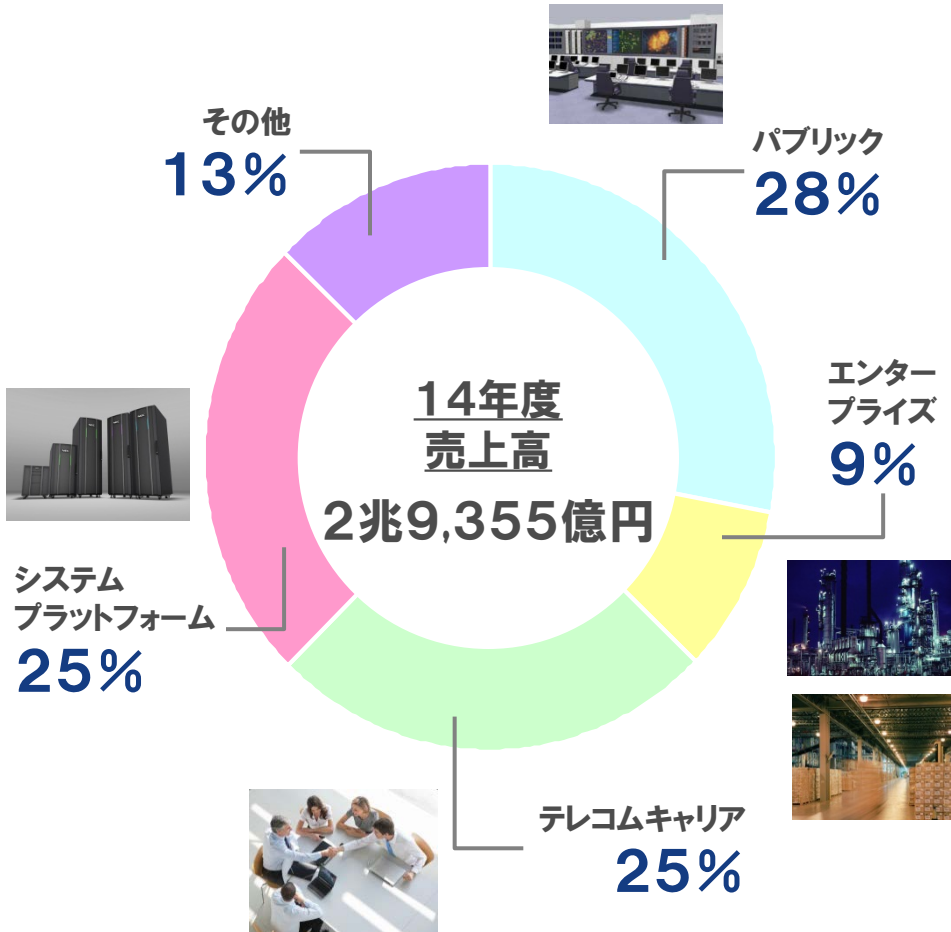


セグメント別 実績

売上高

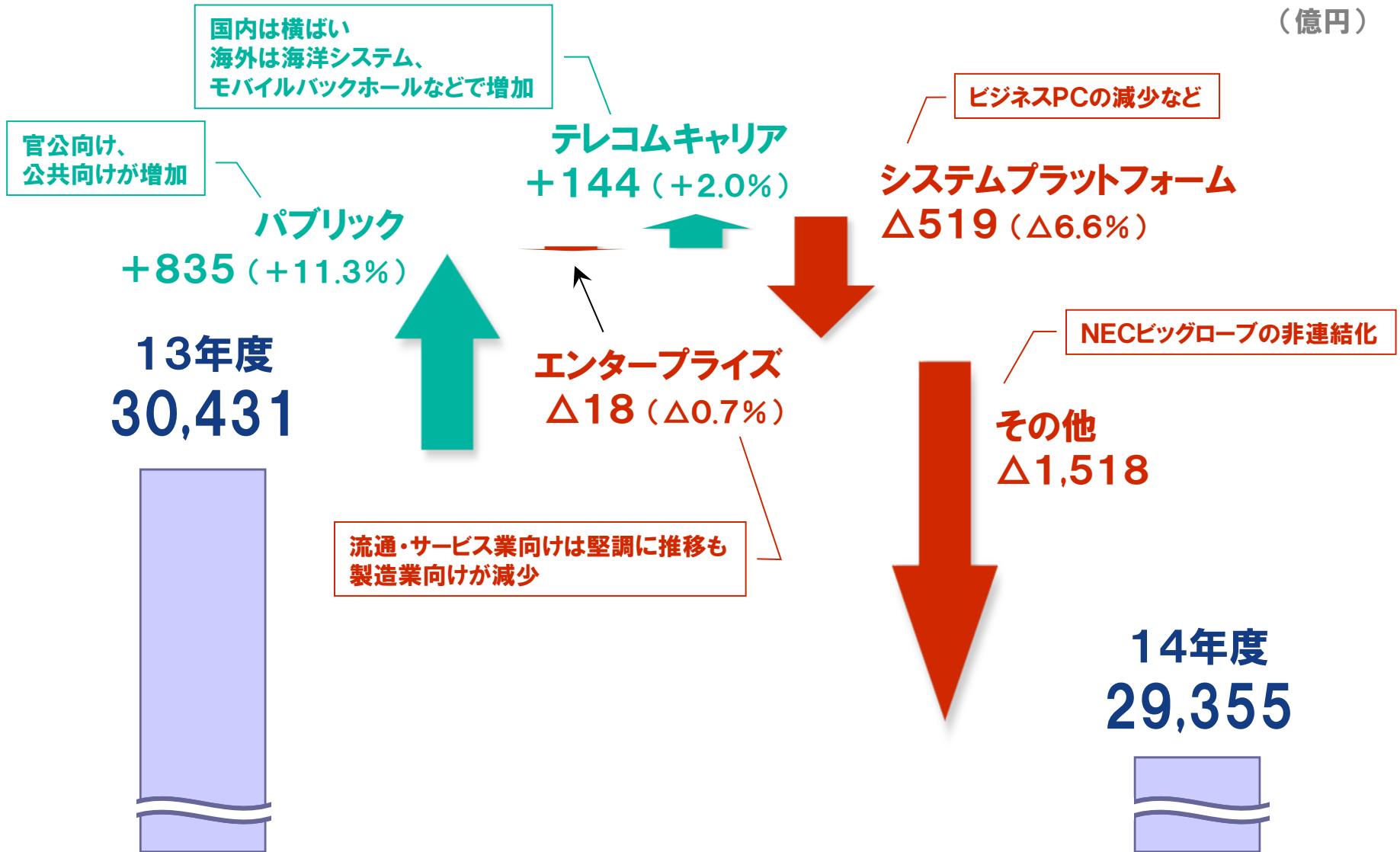
営業利益

(億円)



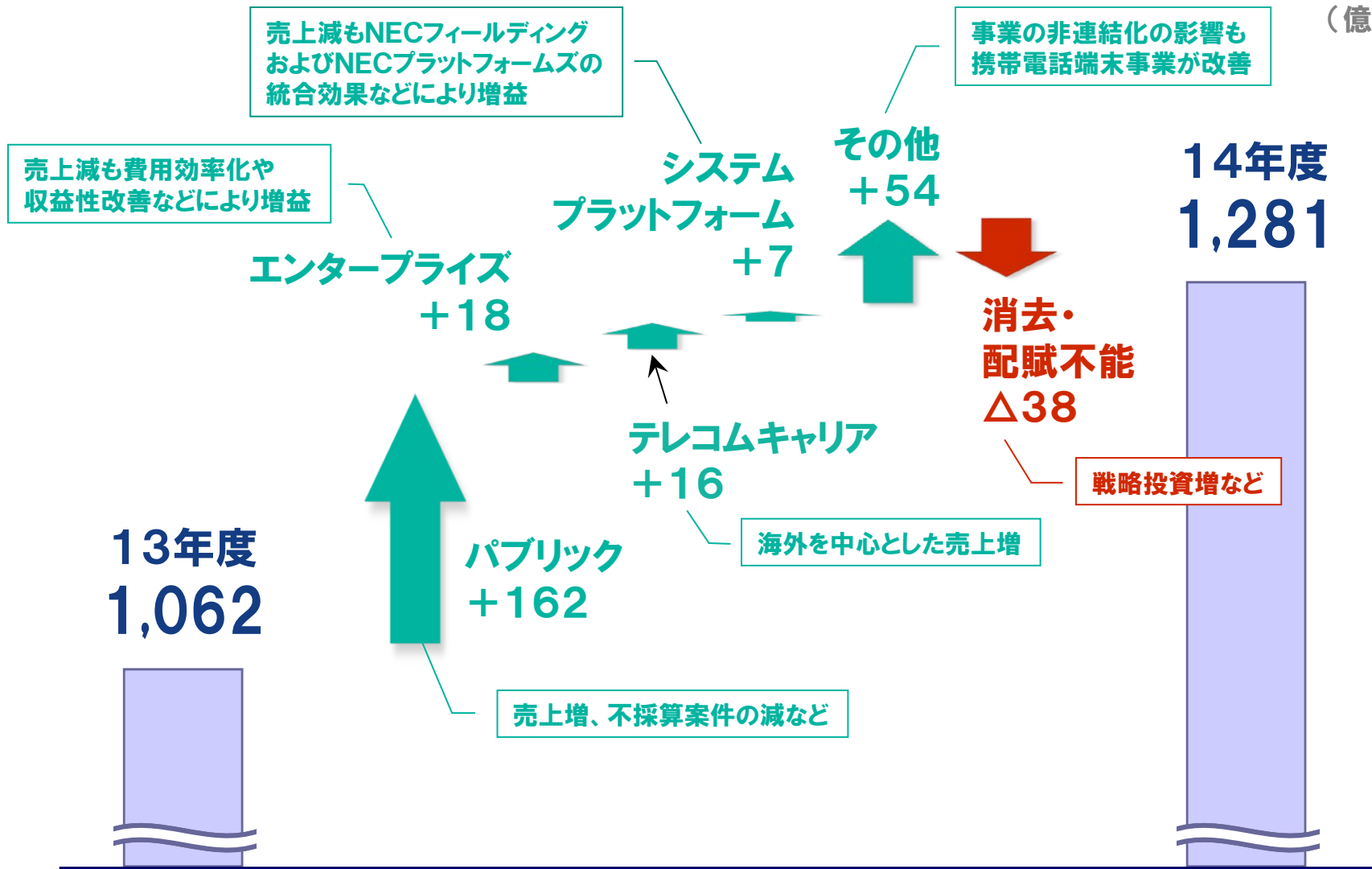
売上高増減（前年度比）

（億円）

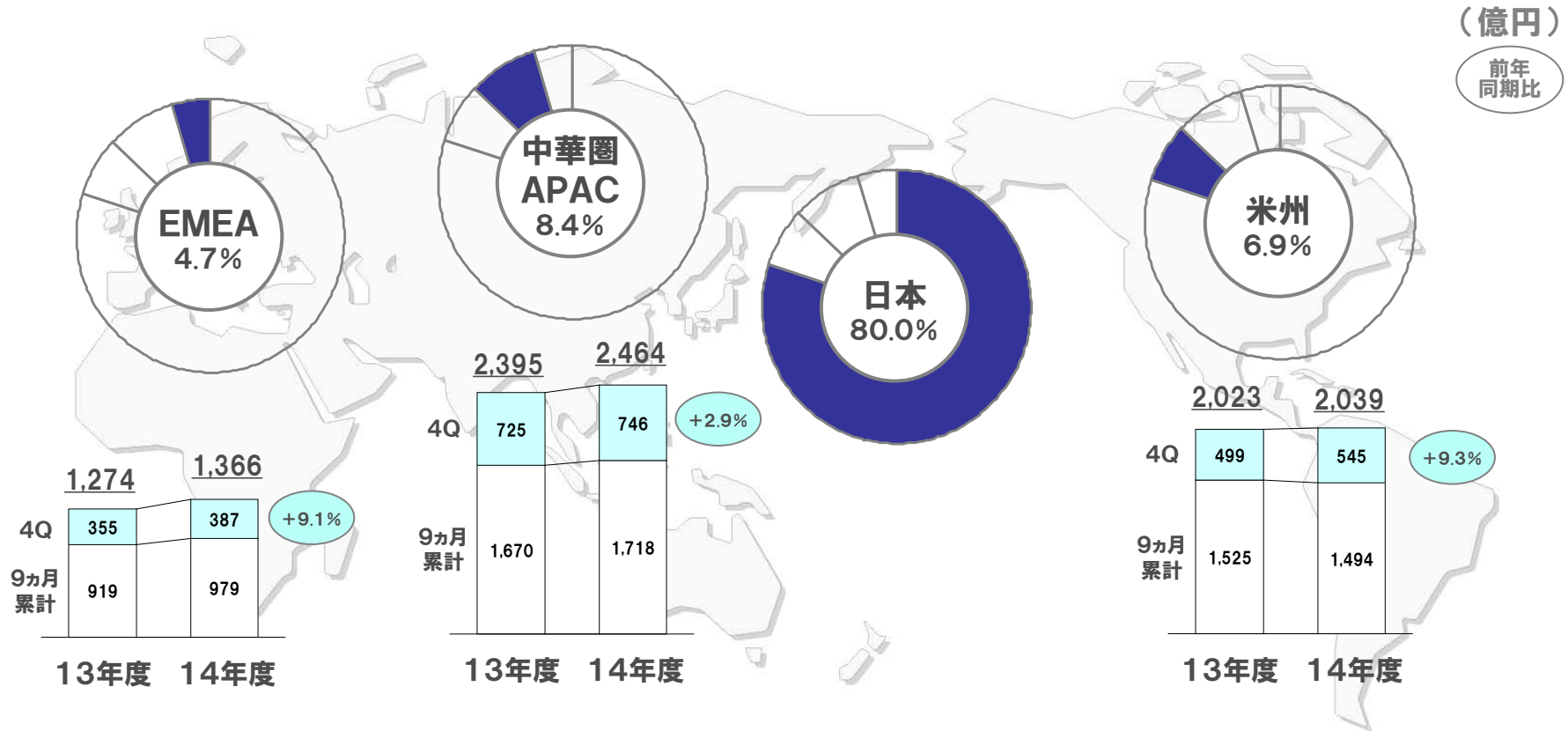


営業利益増減（前年度比）

（億円）



海外売上高



	第4四半期 <1~3月>		
	13年度実績	14年度実績	前年同期比
海外売上高	1,578	1,678	6.3%
売上高比率 (%)	16.4%	18.0%	

	通期		
	13年度実績	14年度実績	前年度比
海外売上高	5,692	5,868	3.1%
売上高比率 (%)	18.7%	20.0%	

※ 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています。円グラフの比率は通期で計算しています。

財政状態に関する経営指標

(単位:億円)

	14/3末	15/3末	14/3末比
総資産	25,053	26,207	+ 1,153
純資産	7,677	8,842	+ 1,165
有利子負債残高	5,752	5,208	△ 544
自己資本 自己資本比率(%)	6,959 27.8%	8,237 31.4%	+ 1,277 + 3.6pt
D/Eレシオ(倍)	0.83	0.63	+ 0.20pt
ネットD/Eレシオ(倍)	0.53	0.41	+ 0.12pt
現金及び現金同等物の 期末残高	2,066	1,811	△ 255

《参考》貸借対照表の状況（15/3末）

総資産 2兆6,207億円（前年度末比 +1,153億円）

前年度末比
（億円）

流動資産

1兆5,768億円

売掛債権の増加

+739

負債

1兆7,365億円

△12

固定資産

1兆439億円

退職給付に係る資産の増加

+414

純資産

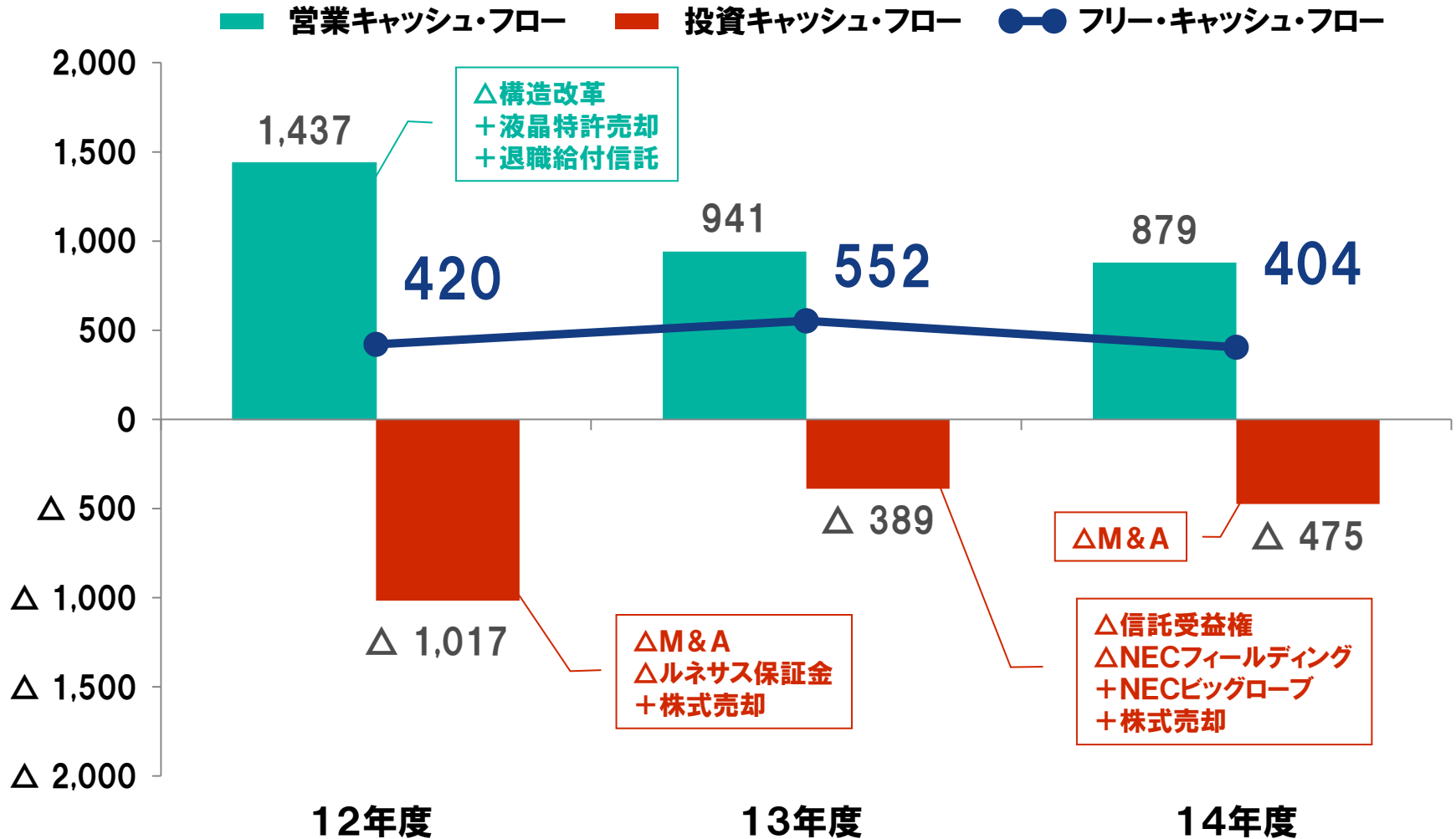
8,842億円

+1,165

当期純利益の計上
退職給付に係る調整累計額の増加

フリー・キャッシュ・フローの状況

(億円)



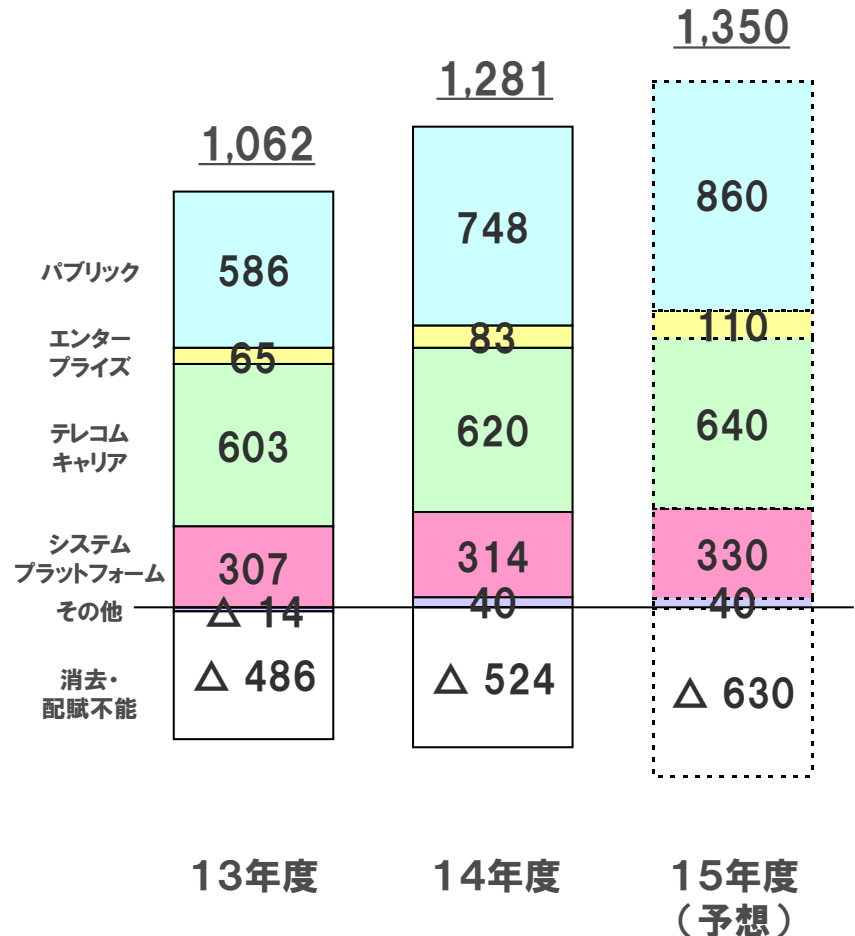
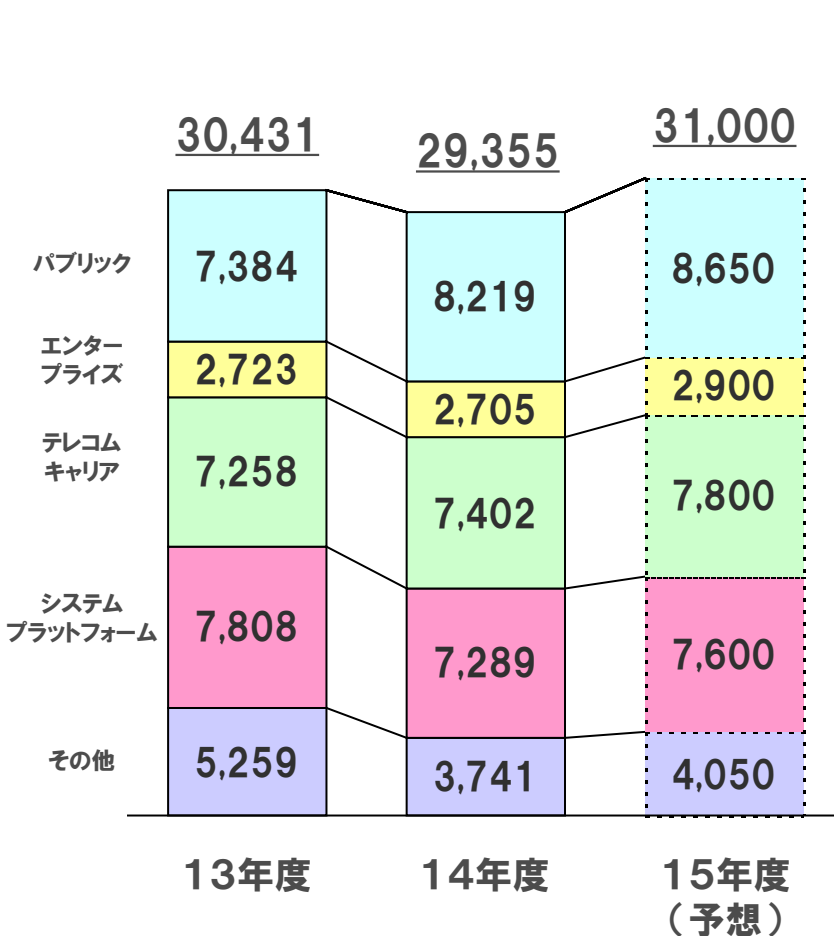
2015年度 業績予想（補足）

セグメント別 業績予想 (3カ年推移)

(億円)

売上高

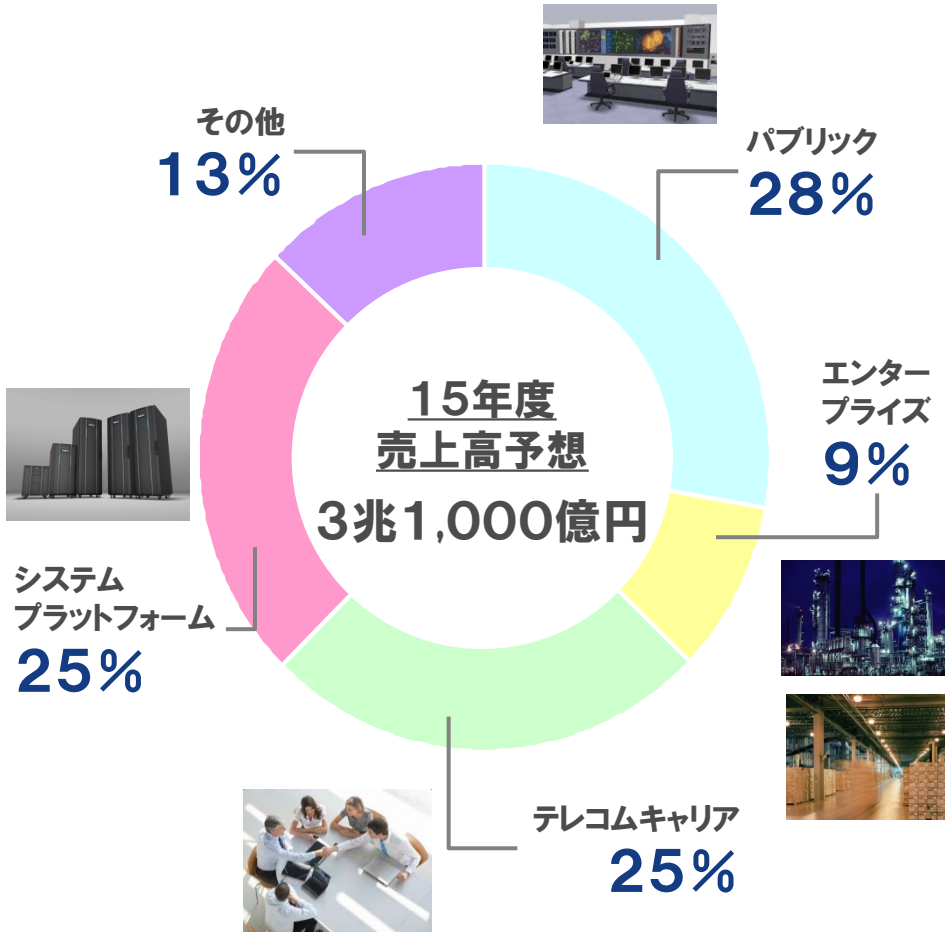
営業損益



※ 予想値は、2015年4月28日現在

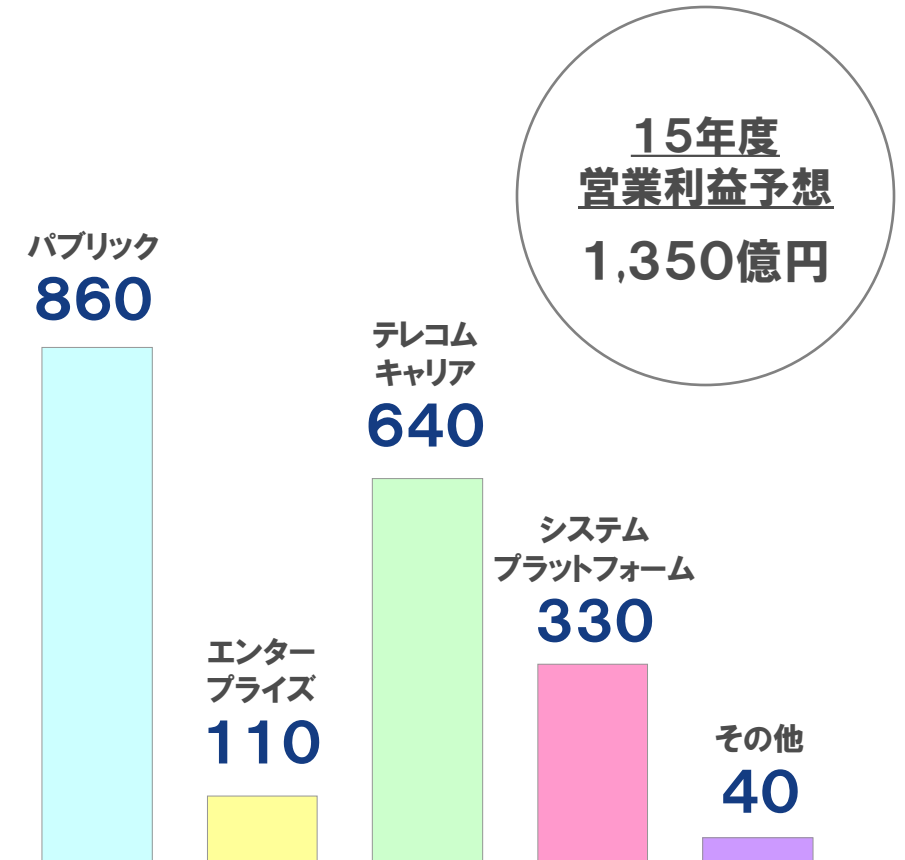
セグメント別 業績予想

売上高

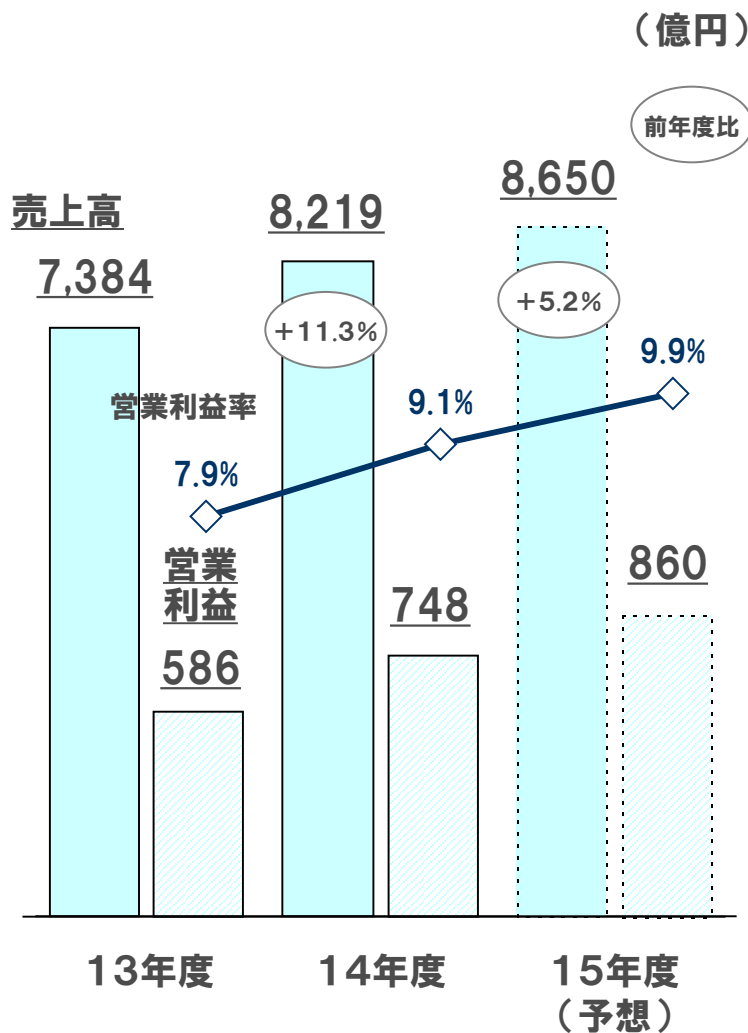


営業利益

(億円)



※ 予想値は、2015年4月28日現在



売上高 8,650億円 (+5.2%)

△ 官公向け、公共向けを中心に増加を見込む

営業利益 860億円 (+112億円)

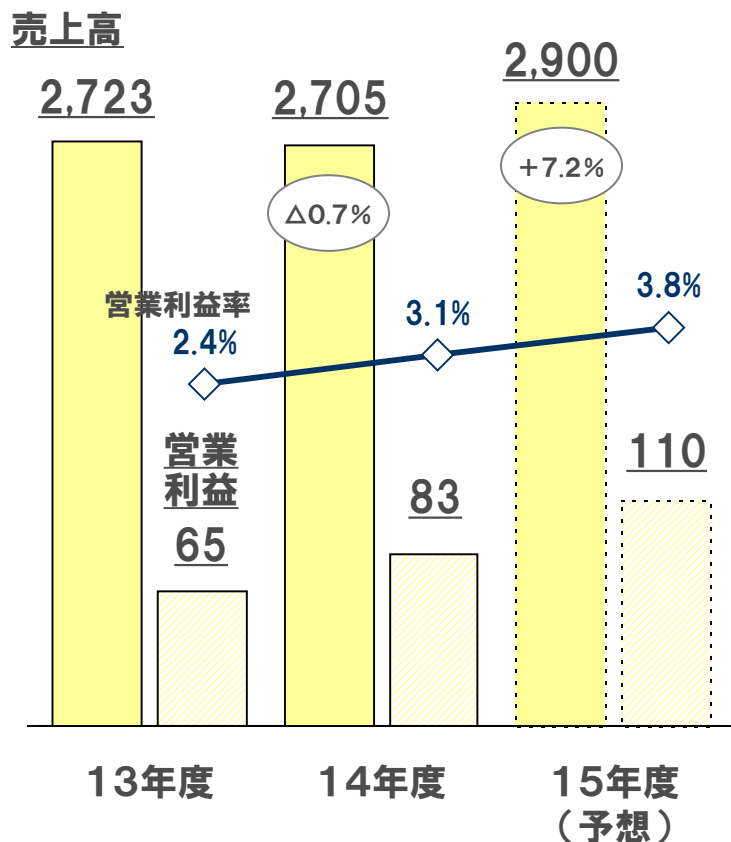
△ 売上増、原価低減、不採算案件の減などにより増益を見込む



※ 予想値は、2015年4月28日現在、カッコ内の%は前年度比

(億円)

前年度比

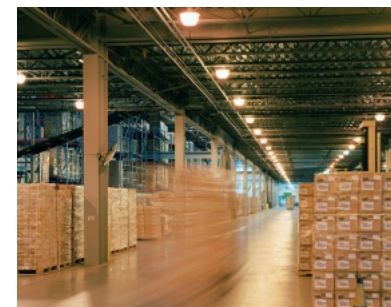


売上高 2,900億円 (+7.2%)

△ 製造業向け、流通・サービス業向けともに増加を見込む

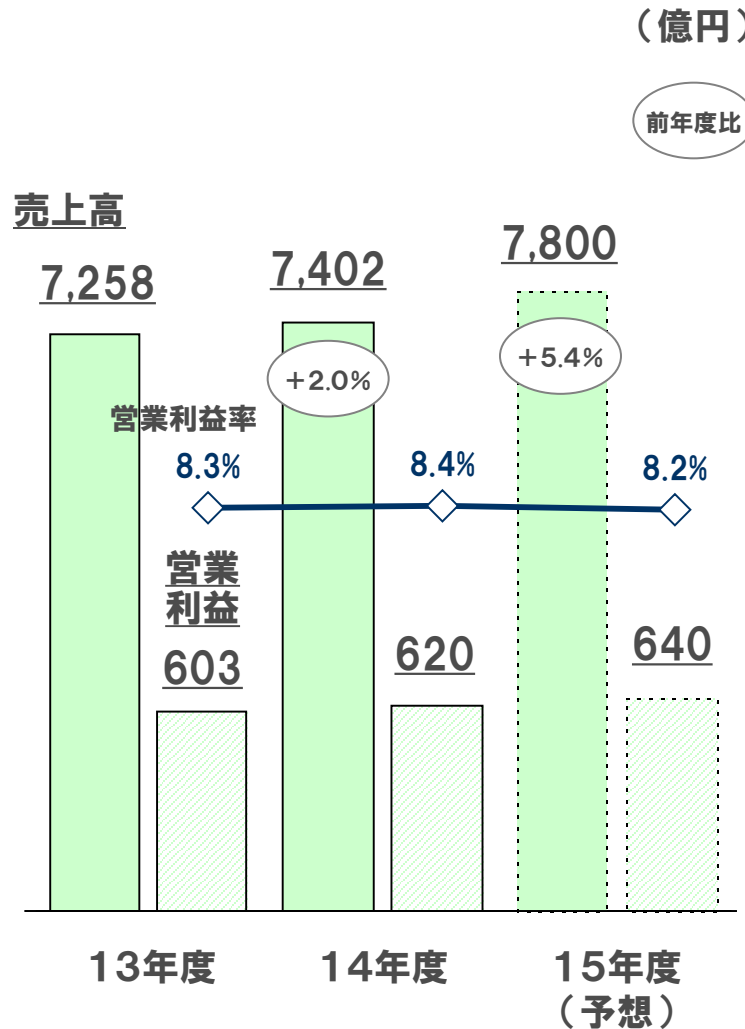
営業利益 110億円 (+27億円)

△ 売上増に加え、収益性改善などにより増益を見込む



※ 予想値は、2015年4月28日現在、カッコ内の%は前年度比

テレコムキャリア



売上高 7,800億円 (+5.4%)

- ▽ 国内は微減を見込む
- △ 海外はモバイルバックホール、TOMS、海洋システムなどで増加を見込む

営業利益 640億円 (+20億円)

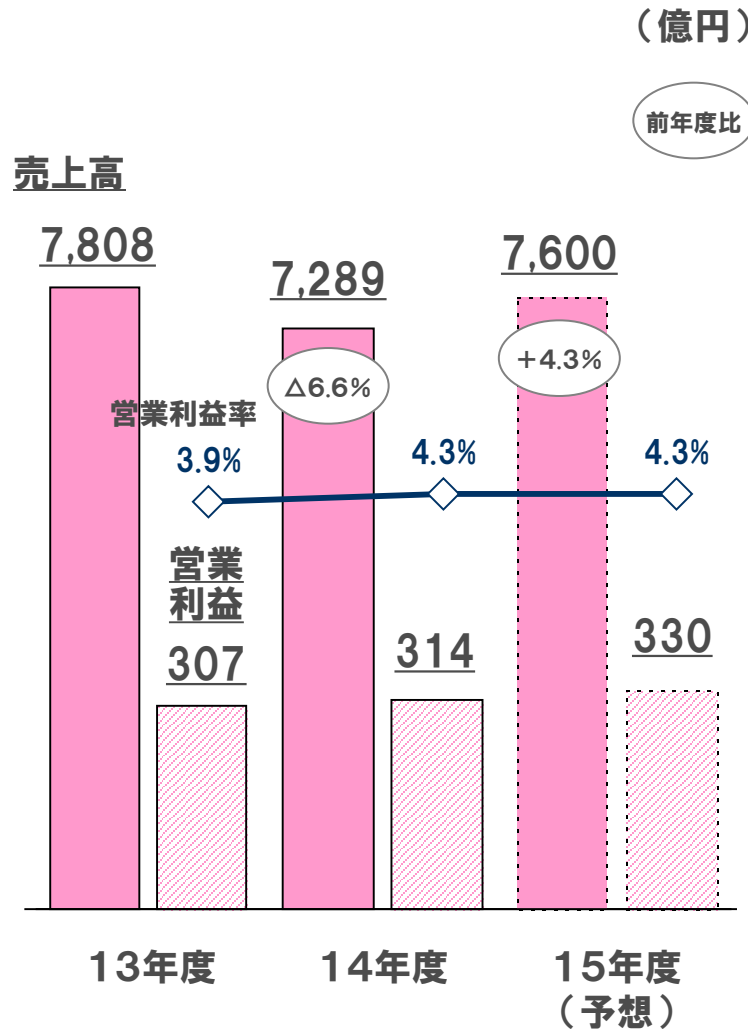
- △ 海外を中心とした売上増により増益を見込む

TOMS: Telecom Operations and Management Solutions



※ 予想値は、2015年4月28日現在、カッコ内の%は前年度比

システムプラットフォーム



売上高 7,600億円 (+4.3%)

△ サーバやネットワーク、ソフトウェアなどのソリューションプラットフォームを中心に増加を見込む

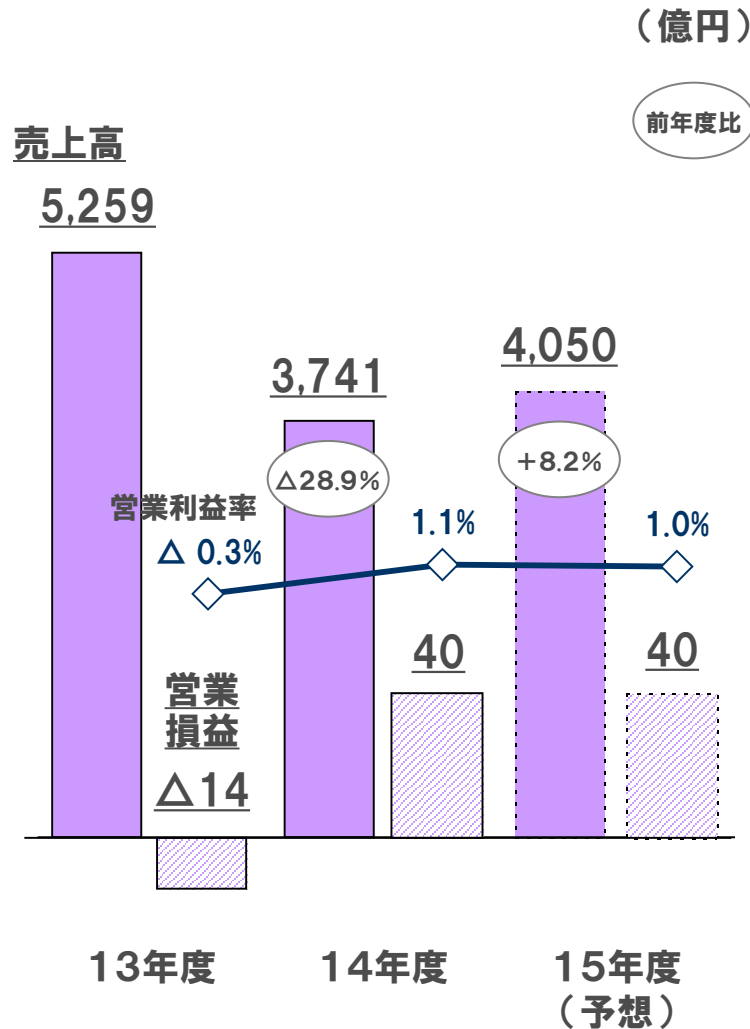
営業利益 330億円 (+16億円)

△ 売上増や更なる原価低減により増益を見込む



※ 予想値は、2015年4月28日現在、カッコ内の%は前年度比

その他



売上高 4,050億円 (+8.2%)

△ 携帯電話端末事業が減少も
エネルギー事業などの増加を見込む

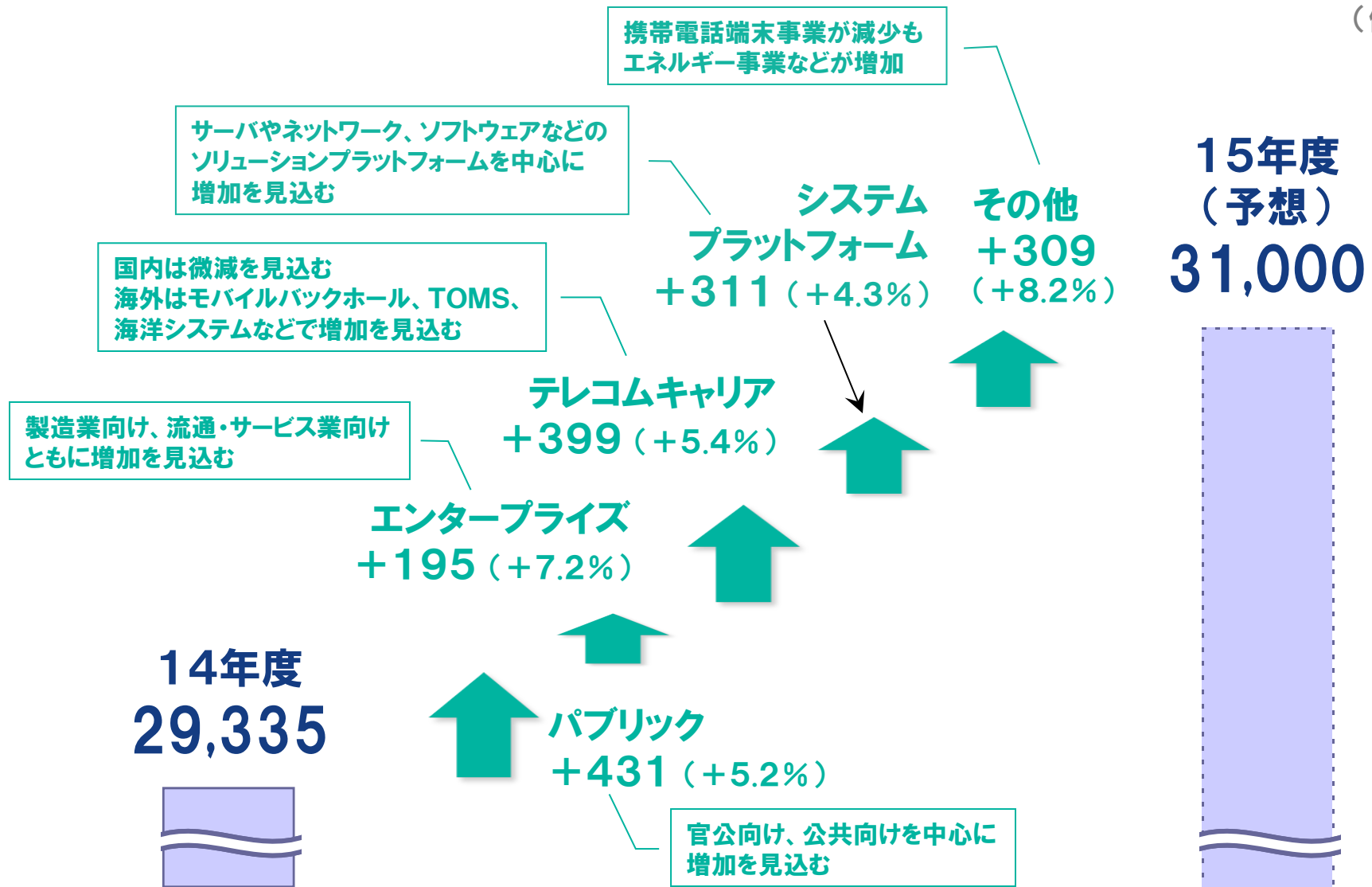
営業損益 40億円 (±0億円)

▷ エネルギーの損益が改善するものの
前年にあった知財関連の一過性の利益
計上の影響などにより前年並みを見込む

※ 予想値は、2015年4月28日現在、カッコ内の%は前年度比

売上高増減（前年度比）

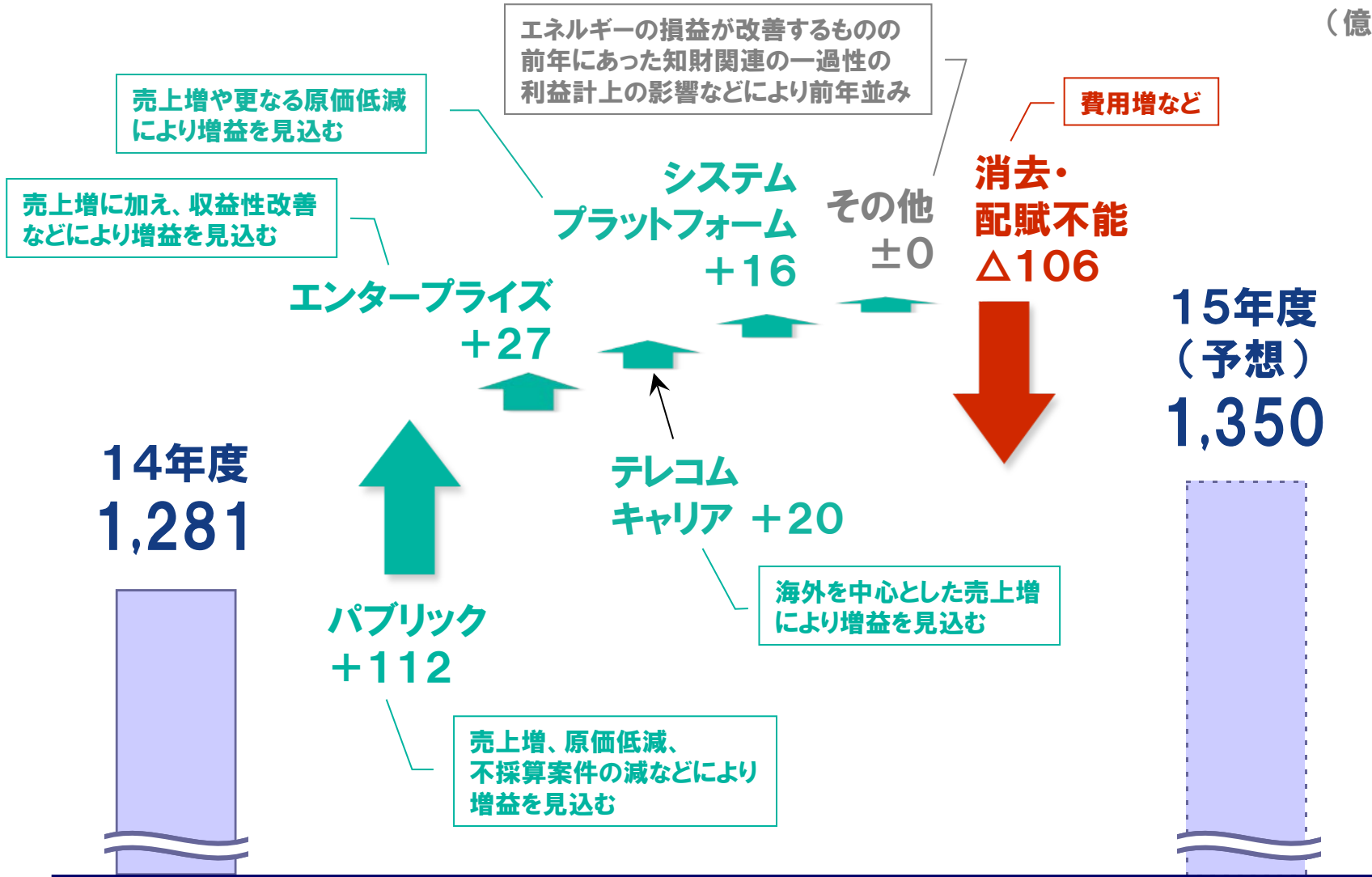
（億円）



※ 予想値は、2015年4月28日現在

営業利益増減（前年度比）

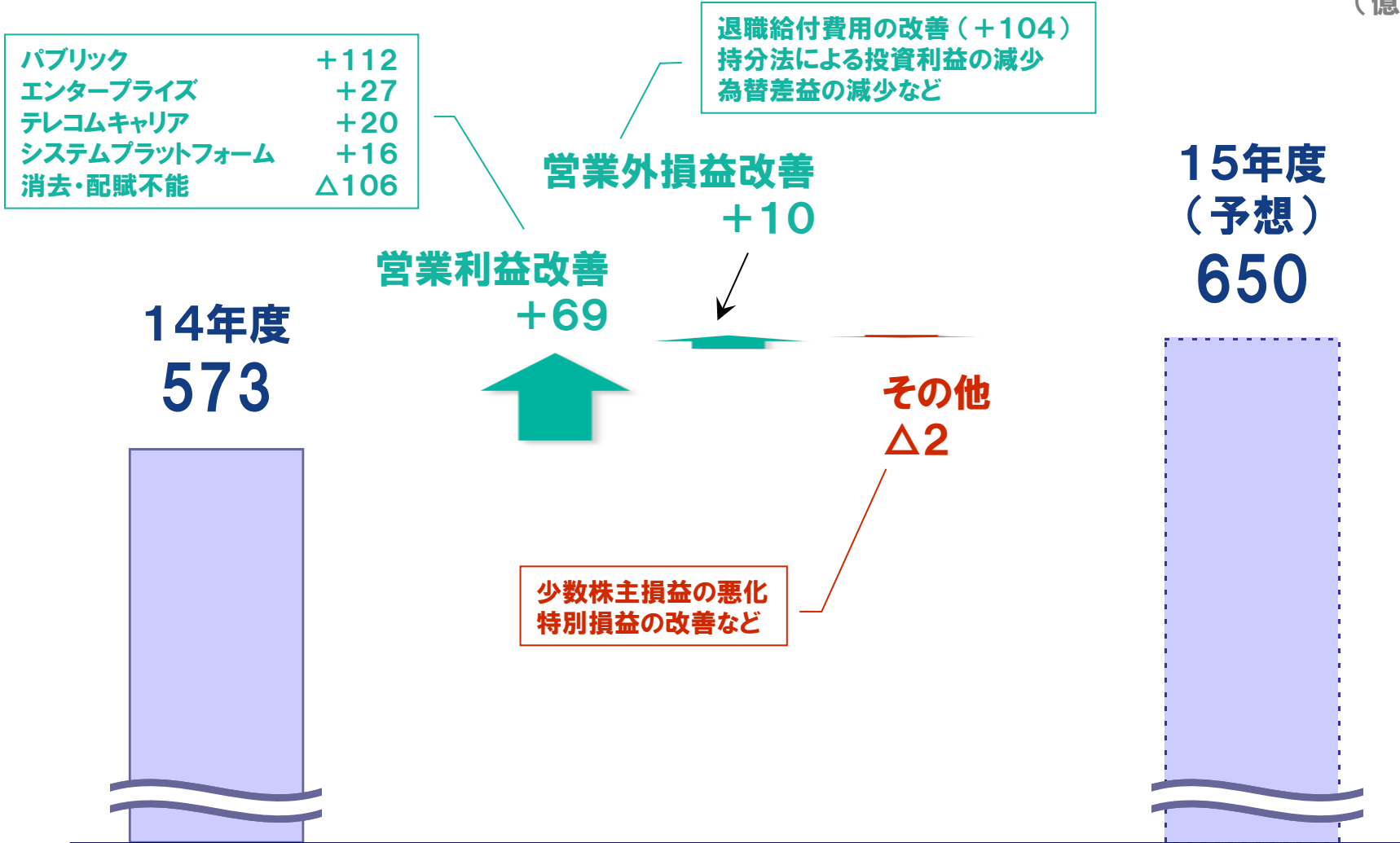
（億円）



※ 予想値は、2015年4月28日現在

当期純利益増減（前年度比）

（億円）



※ 予想値は、2015年4月28日現在、15年度（予想）の「当期純利益」は、親会社株主に帰属する当期純利益の金額を表示

設備投資額・減価償却費・研究開発費

(億円)

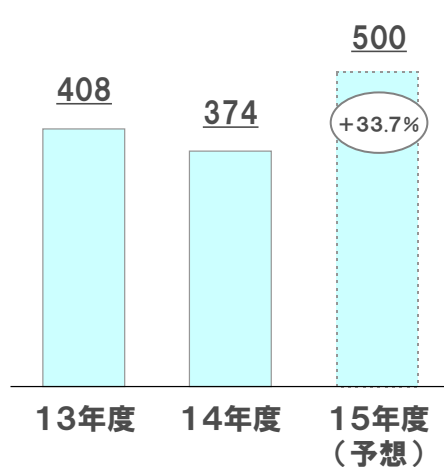
前年度比

	13年度 実績	14年度 実績	前年度比	15年度 予想	前年度比
設備投資額	* 408	374	△ 8.3%	500	+ 33.6%
減価償却費	452	485	+ 7.4%	500	+ 3.1%
研究開発費	1,427	1,342	△ 6.0%	1,450	+ 8.0%
売上高比率	4.7%	4.6%		4.7%	

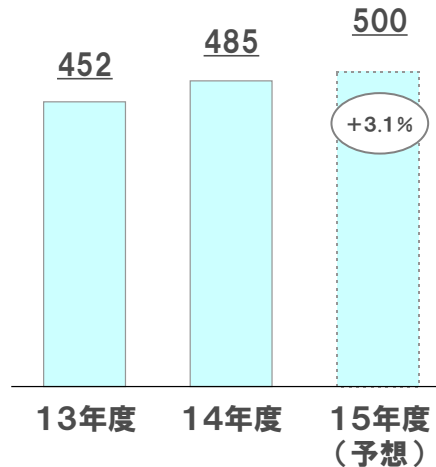
* 信託受益権の取得は含まず



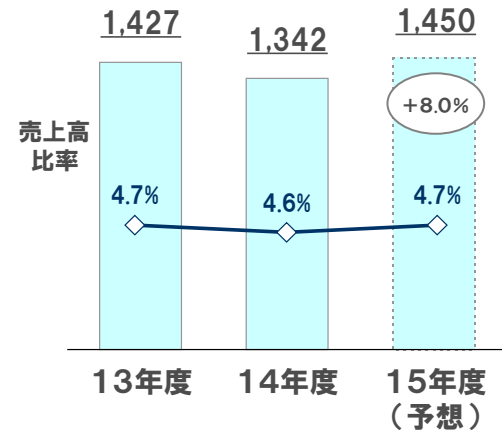
設備投資額



減価償却費



研究開発費



※ 予想値は、2015年4月28日現在

2015中期経営計画の進捗（補足）

社会ソリューション事業への注力

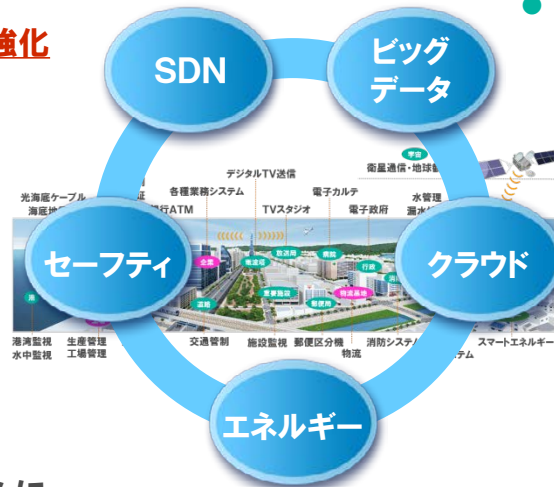
- NEXCO西日本の基幹ネットワーク、沖縄県西原町の新庁舎ネットワークなどSDNで構築
- 国内MVNO事業者向けvMVNOソリューションが商用稼働開始
- 韓国大手通信事業者KTとSDN領域で協業
- テレコムオーストリア向けvCPEトライアルを実施
- NTTドコモのネットワーク仮想化技術開発のパートナーベンダーに選定
- **NECとNetCracker、通信キャリア向けSDN/NFV領域におけるグローバル体制強化**
- 鴻海グループとデータセンター事業で協業
- テレフォニカブラジルにおいて仮想CPEサービスの商用ネットワークによる大規模トライアルを開始

- 「サイバーセキュリティ・ファクトリー」本格稼働
- 米国国立標準技術研究所（NIST）の顔認証技術、指紋認証技術のベンチマークテストで第1位評価獲得
- アルゼンチン ティグレ市が街中監視システムに顔認証技術を導入

- テイパーズに顔認証技術を利用した本人確認システムを提供
- エボラ出血熱対策として赤外線サーモグラフィ納入



- 豊島区で、世界初の「群衆行動解析技術」を用いた総合防災システムを構築
- インターポール・デジタル犯罪捜査支援センターの中核システム納入



- 中国電力 島根原子力発電所2号機に「大規模プラント故障予兆監視システム」納入
- 上水道管の漏水を早期発見する「漏水監視サービス」発売
- スペイン サンタンデル市におけるゴミ収集管理サービスの高度化事業に参画
- 米テキサス州立大学と水の保全管理など社会インフラプロジェクトで提携



- IHI運搬機械の機械式立体駐車場向け遠隔監視保守システム基盤、住友生命グループ会社向け共通IT基盤、明治フレッシュネットワークの業務システム基盤などにクラウド基盤サービス「NEC Cloud IaaS」を提供



■ **世界トップクラスの蓄電システム事業会社「NEC Energy Solutions」設立**

- イギリスの大手電力会社に欧州最大クラスの大容量リチウムイオン蓄電システムを納入
- 東京ミッドタウンに国内最多125台のEV・PHV用充電インフラを導入



MVNO : Mobile Virtual Network Operator
 vMVNO : Virtualized MVNO
 vCPE : virtualized Customer Premises Equipment
 NFV : Network Functions Virtualization

アジアへの注力、現地主導型ビジネスの推進

- インドで携帯電話基地局へのエネルギー管理システム導入に向けた実証実験を開始
- インドのホテルグループLemon Tree Hotelsに顔認証ソリューションを納入
- インド Surat州政府警察にNeoFace納入
- 韓国大手通信事業者KTとSDN領域で協業
- 日米を結ぶ太平洋横断大型光海底ケーブル「FASTER」を受注
- 東南アジアと米国を結ぶ光海底ケーブル「SEA-US」の建設請負契約を締結
- タイと香港を結ぶ光海底ケーブルシステムを受注
- バングラデシュ国ダッカ市の交通料金システム統合に向けたプロジェクトを開始
- タイのPBSテレビから地上デジタルテレビ放送用送信機を受注
- タイの自動車部品・工作機械メーカーにPLMクラウドサービス「Obbligato for SaaS」を提供
- ミャンマー国際コンベンションセンターのICTインフラを構築
- シンガポールSMRT社向けにバスの運行サービス向上を支援するソリューションを提供
- シンガポール経済開発庁（EDB）とサイバーセキュリティ、スマートエネルギー、ヘルスケア、IoT領域でMOUを締結
- オーストラリア国防省のサーバおよびストレージの運用管理業務を受注
- オーストラリア リバプール市がパブリックセーフティ網にNECの無線伝送装置「iPASOLINK EX」を採用
- オーストラリア大手通信事業者オプタスから運用支援システムを受注



グローバル事業拡大への取り組み

● EMEA

- イギリスの放送インフラ事業者アキーバ社と英国放送協会BBCの4K地上波ライブ実験放送に向けた環境を構築
- Ymens社とルーマニア政府向けクラウド電子政府サービスに向けたパートナーシップを締結
- スペイン サンタンデル市のゴミ収集管理サービスの高度化事業に参画
- オランダのデイコムと共同で、ルーマニアの農場で農業ICTの実証実験を実施
- ザンビアのザムテル社からマイクロ無線バックホーン／アクセスを受注
- エボラ出血熱対策として赤外線サーモグラフィを納入



● 米州

- ブラジル・ナタル市のスタジアムICTシステムを構築
- ブラジル最大手テレビ局の4K地上波ライブ実験放送に向けた環境を構築
- アルゼンチン ティグレ市が街中監視システムに NECの顔認証技術を導入
- メキシコ宇宙庁と衛星開発で協力
- 米テキサス州立大学と社会インフラプロジェクトで提携
- コロンビアの学校や公民館にICT環境を構築



安定的な財務基盤の構築

■ NECフィールディングの完全子会社化

■ ソフトウェア、ハードウェアの開発・生産子会社の再編

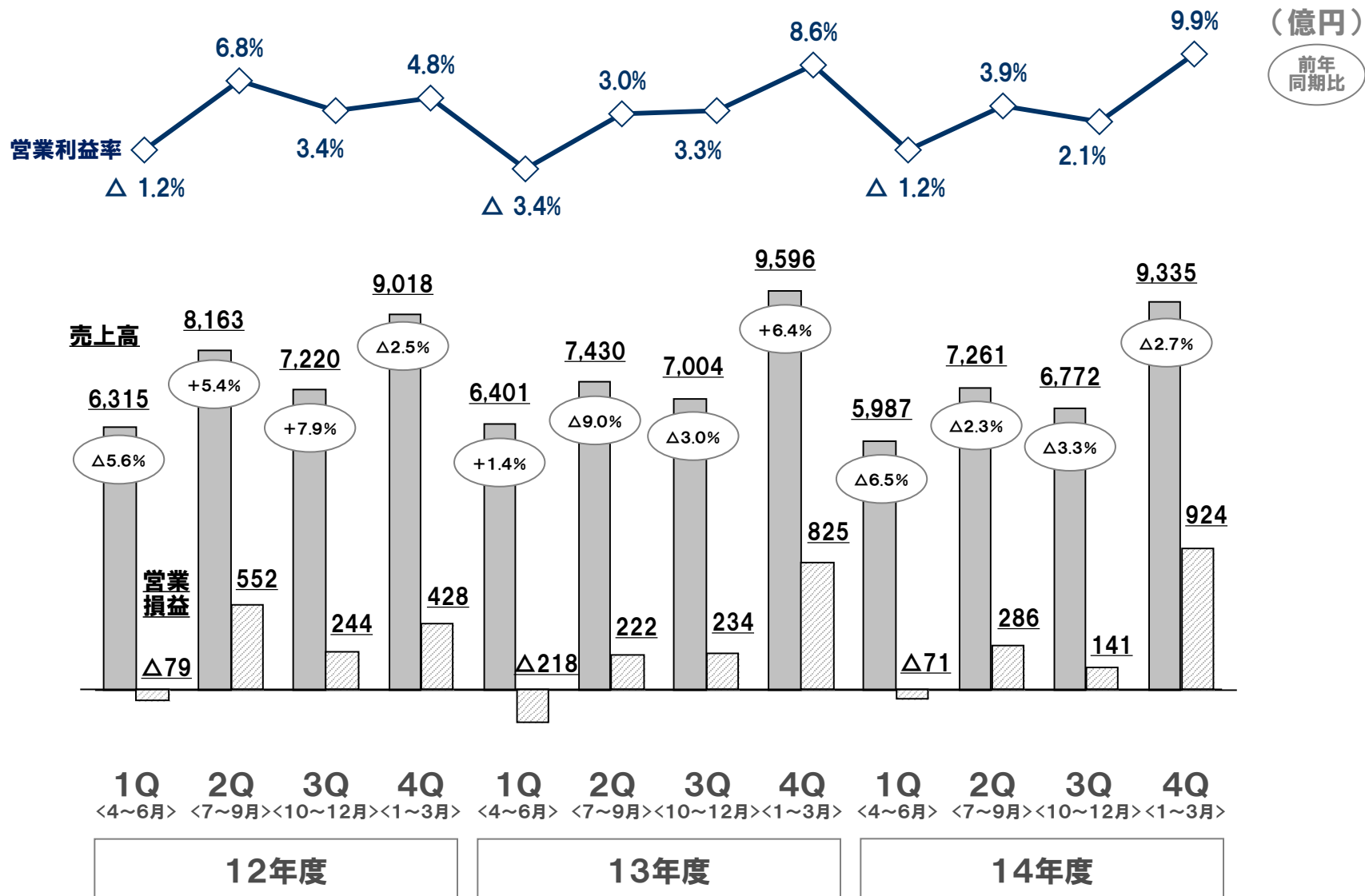
- NECソリューションイノベータ、NECプラットフォームズの発足
- 埼玉日本電気、長野日本電気の機能を2016年度末までに移管

■ 業務改革推進プロジェクトの着手

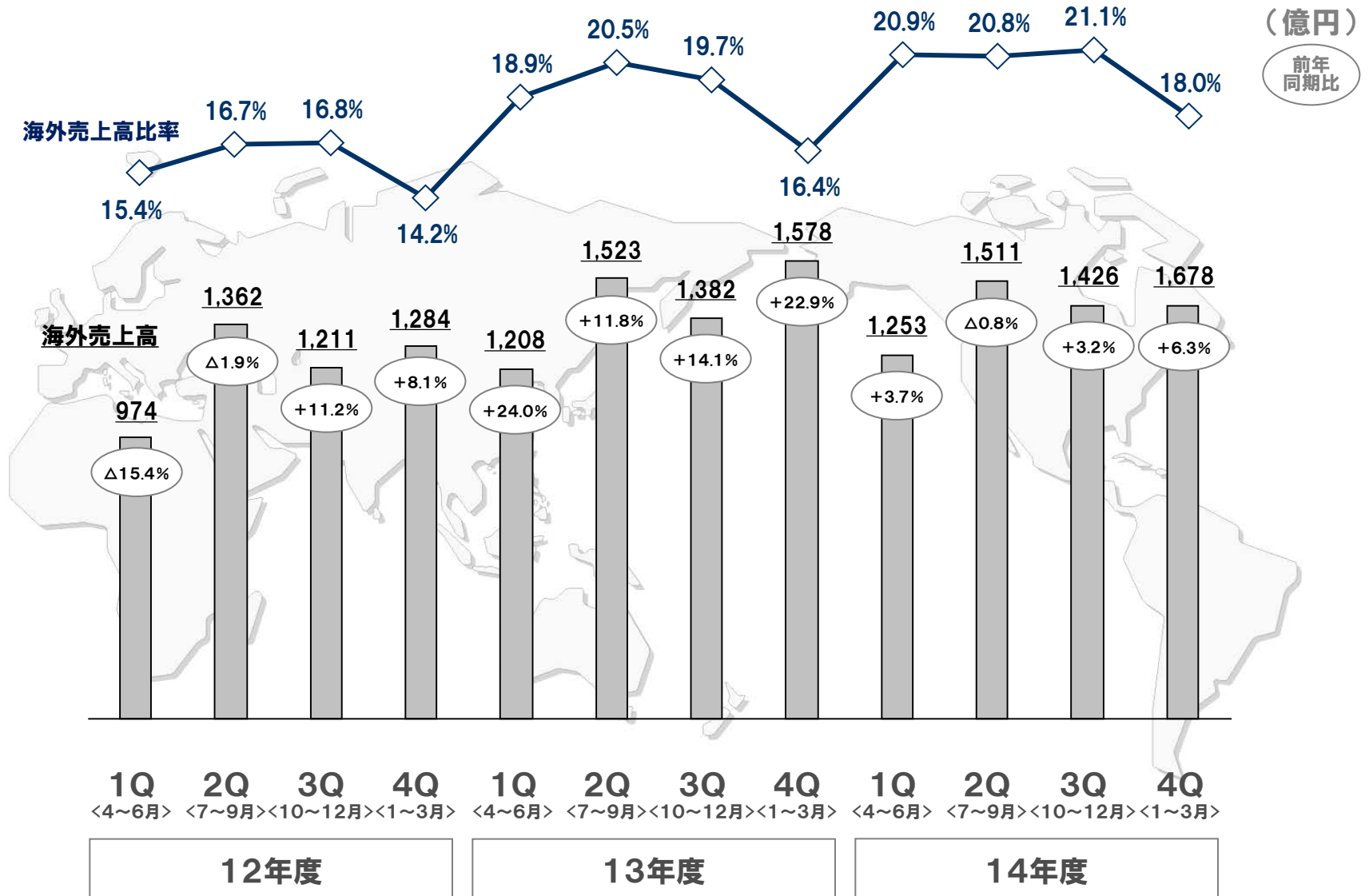
- 本社管理部門および事業部門のスタッフ業務の大半をNECマネジメントパートナーに集約し、同社ではグループ共通のスタッフとして全体最適の観点で制度・プロセスの標準化・業務改革を実行

参考資料（業績データ）

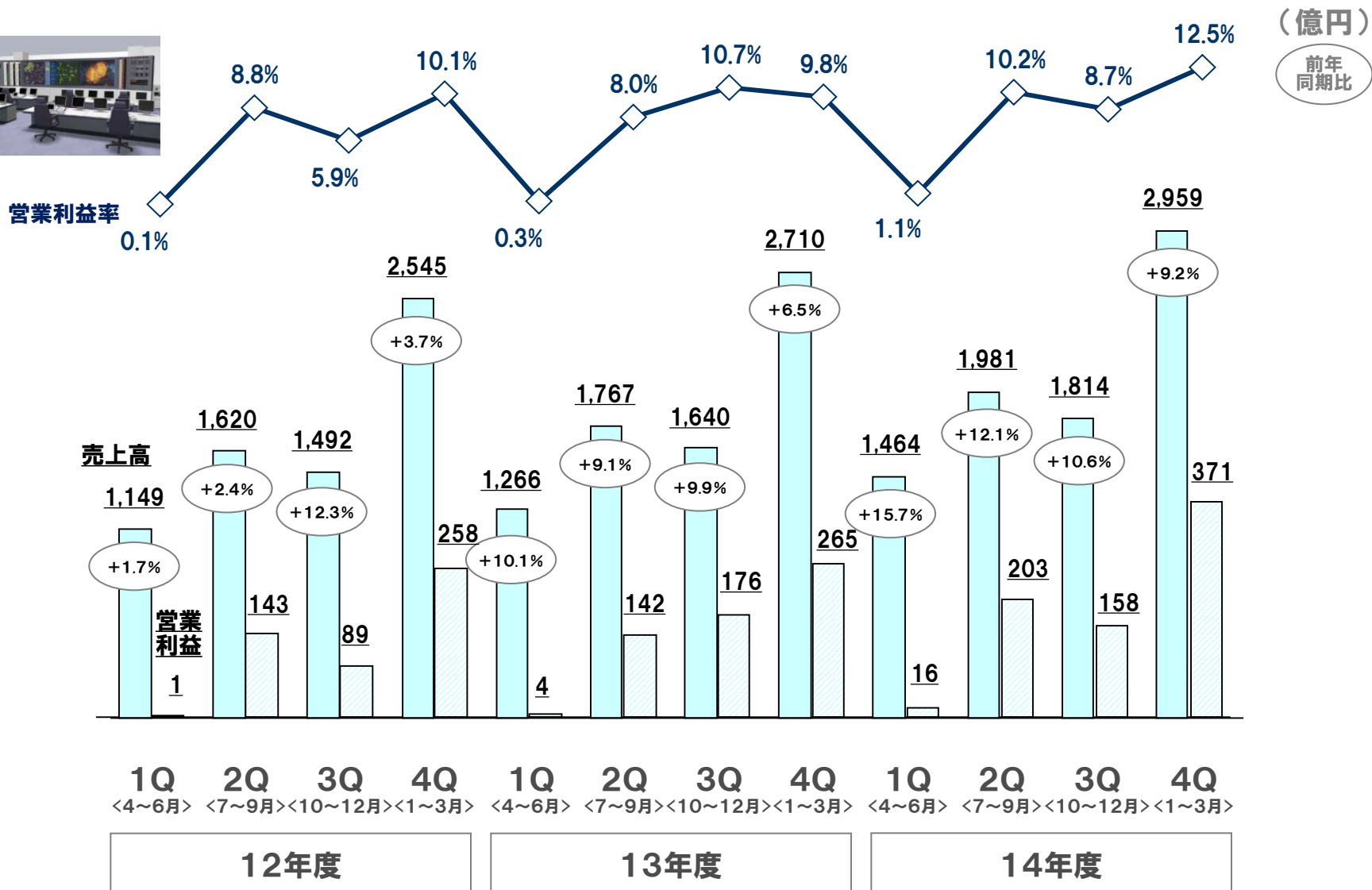
全社売上高・営業損益推移



海外売上高推移



パブリック 売上高・営業利益推移

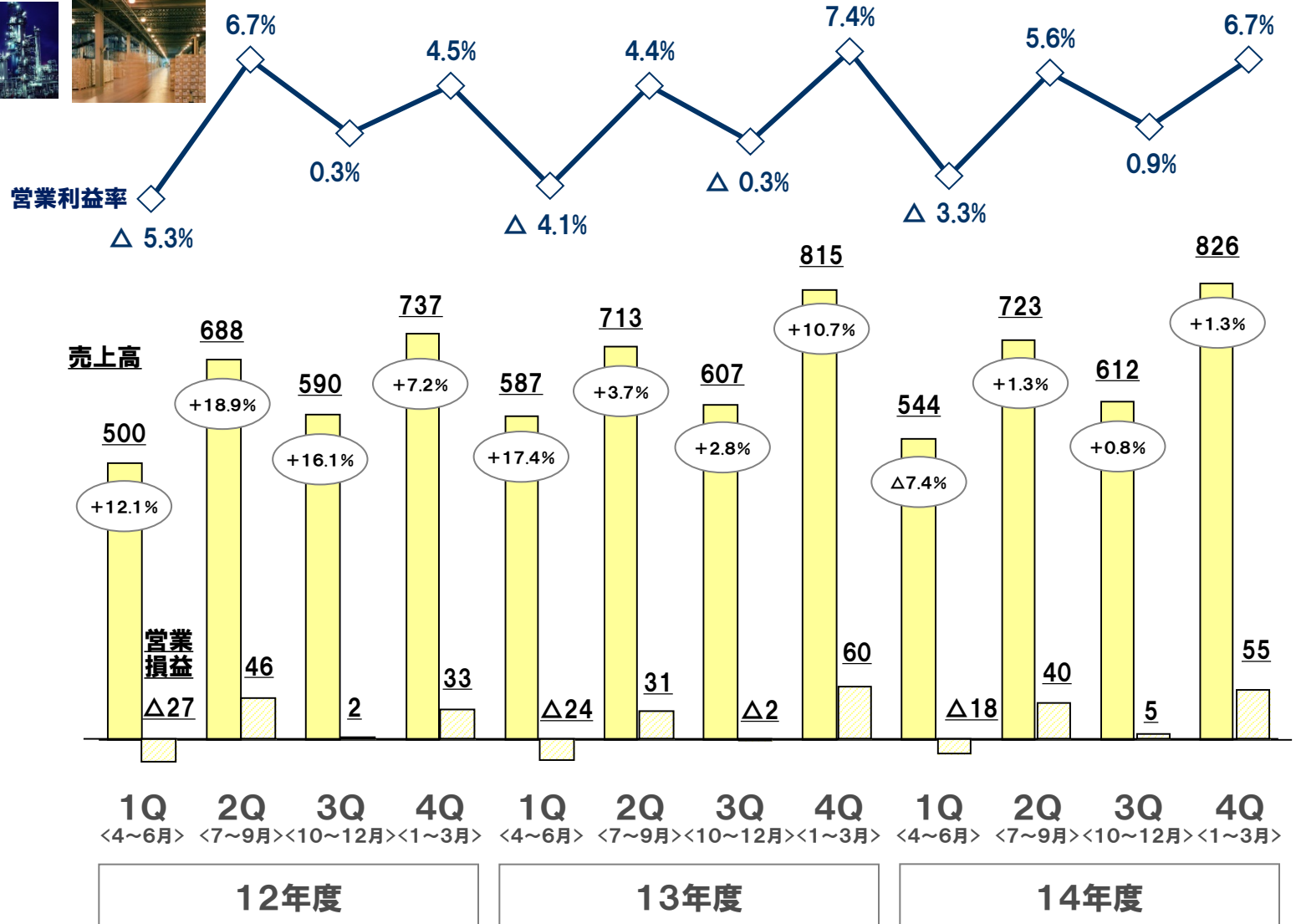


エンタープライズ 売上高・営業損益推移



(億円)

前年
同期比

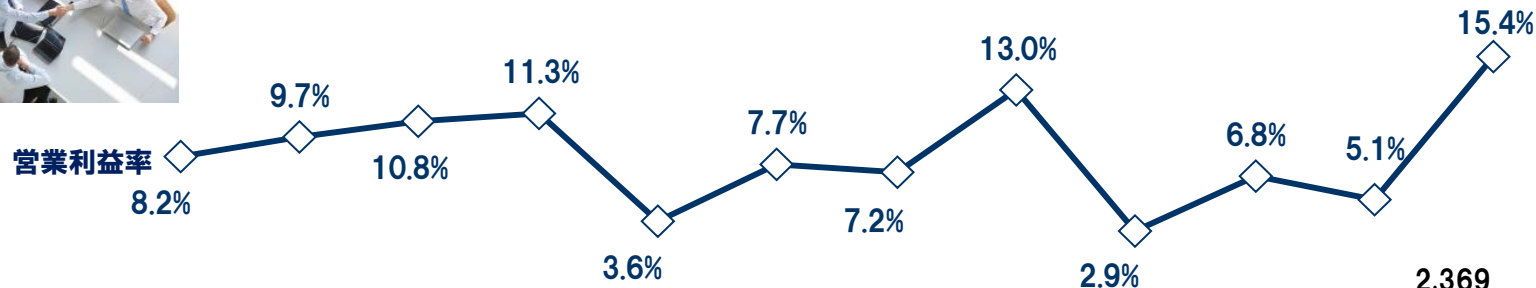


テレコムキャリア 売上高・営業利益推移

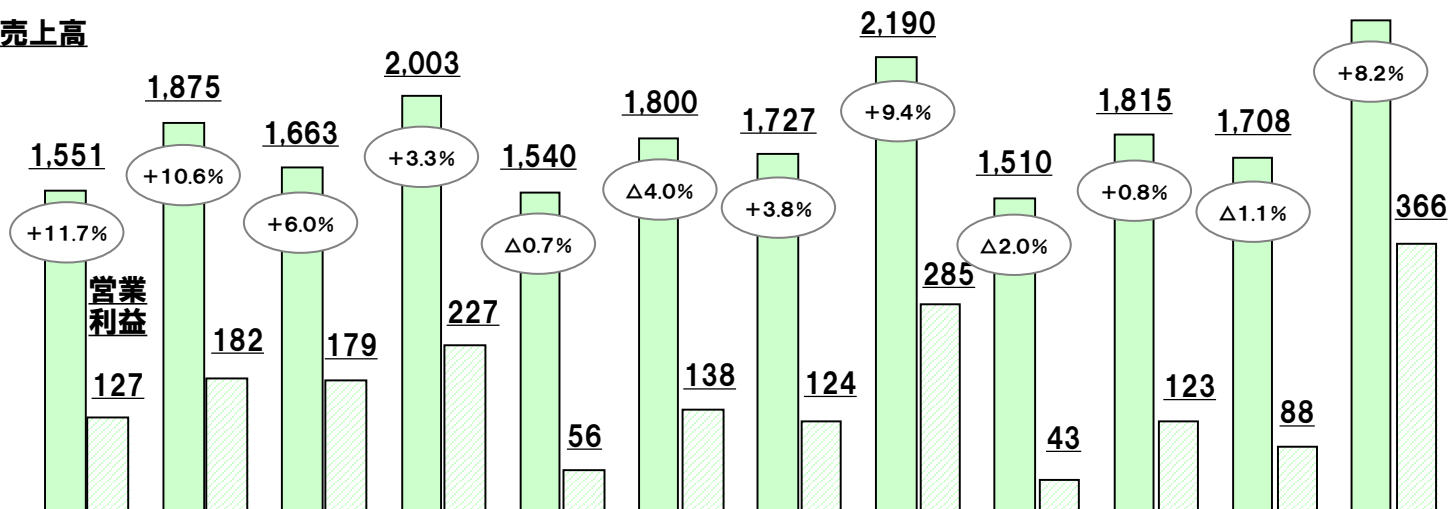


(億円)

前年
同期比



売上高



1Q <4~6月> 2Q <7~9月> 3Q <10~12月> 4Q <1~3月> 1Q <4~6月> 2Q <7~9月> 3Q <10~12月> 4Q <1~3月> 1Q <4~6月> 2Q <7~9月> 3Q <10~12月> 4Q <1~3月>

12年度

13年度

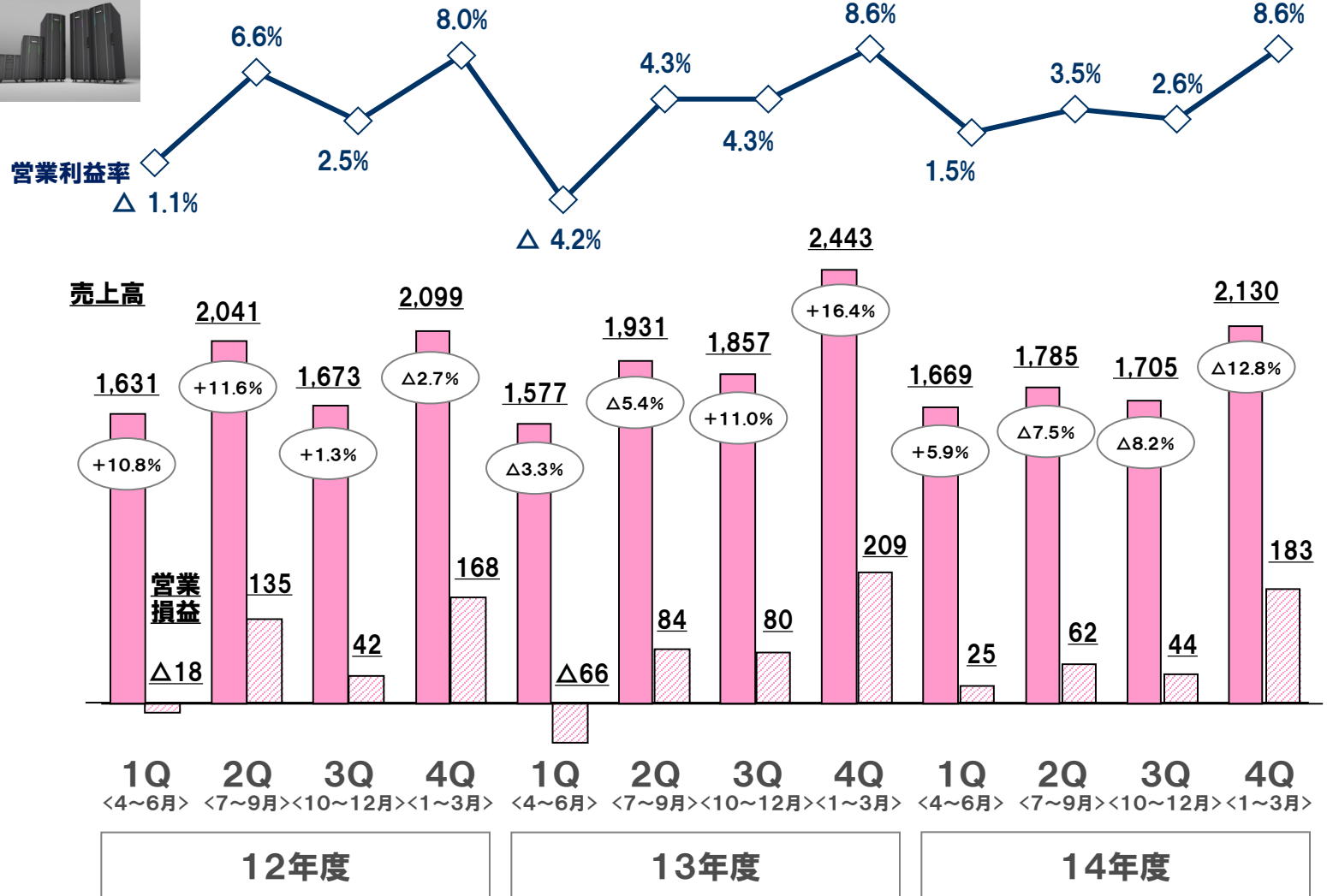
14年度

システムプラットフォーム 売上高・営業損益推移

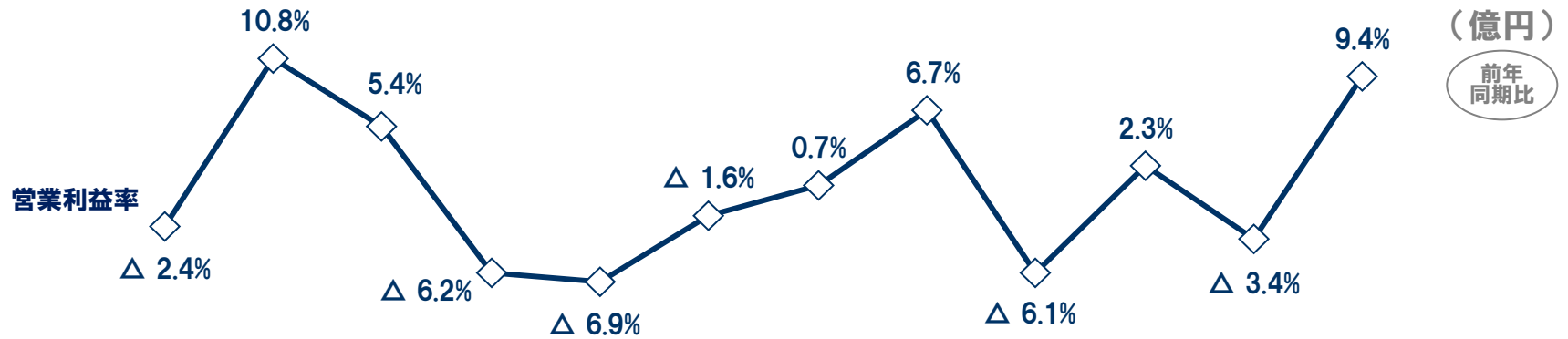


(億円)

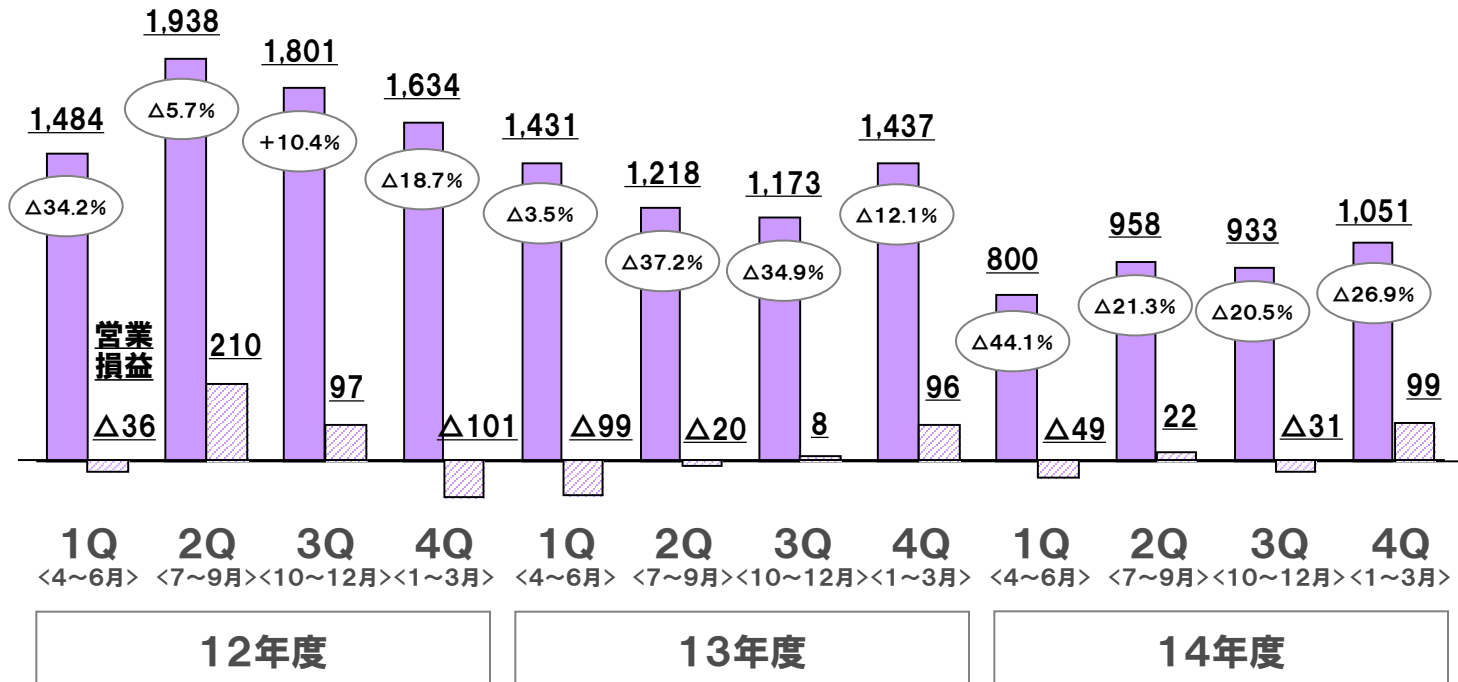
前年
同期比



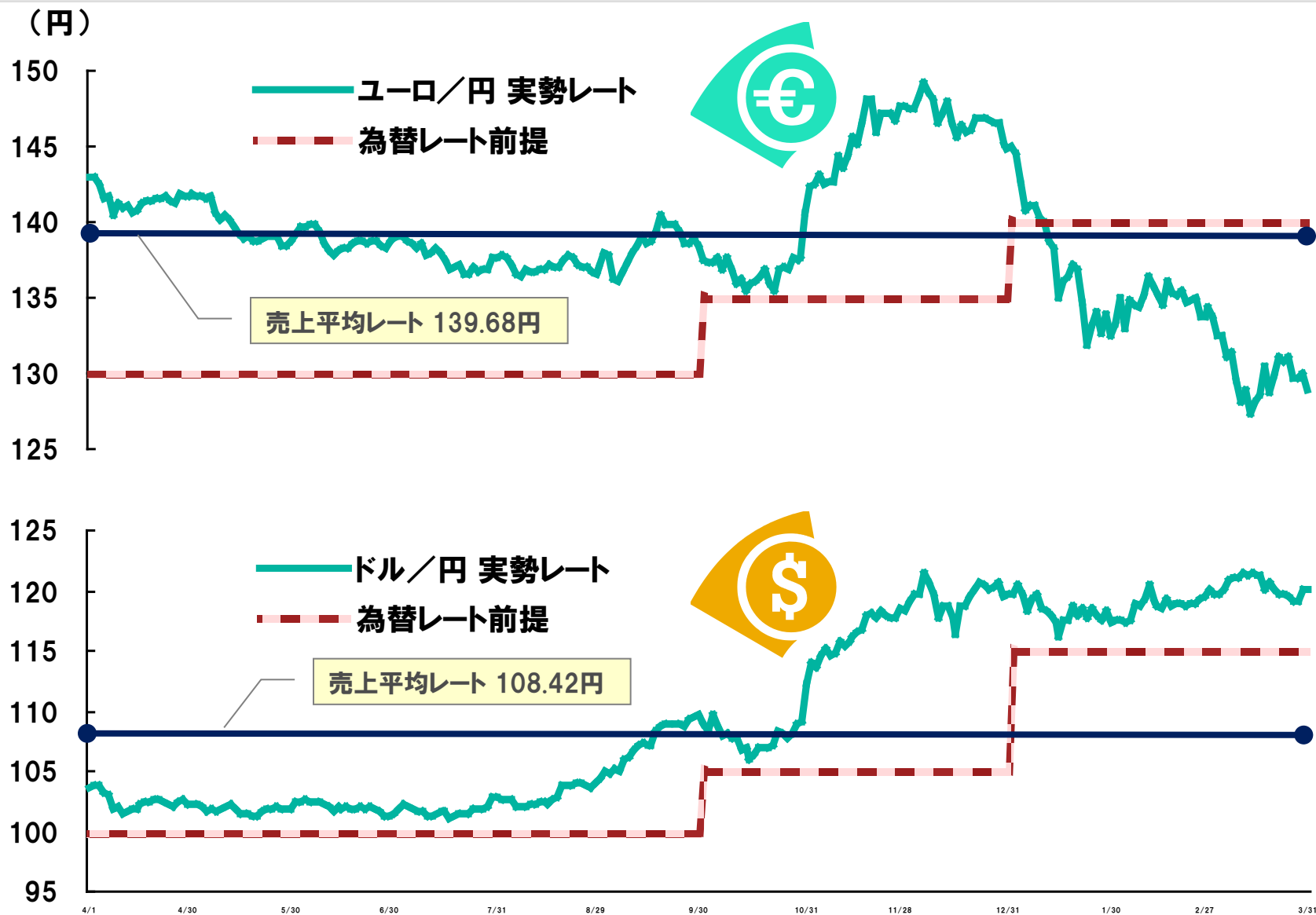
その他 売上高・営業損益推移



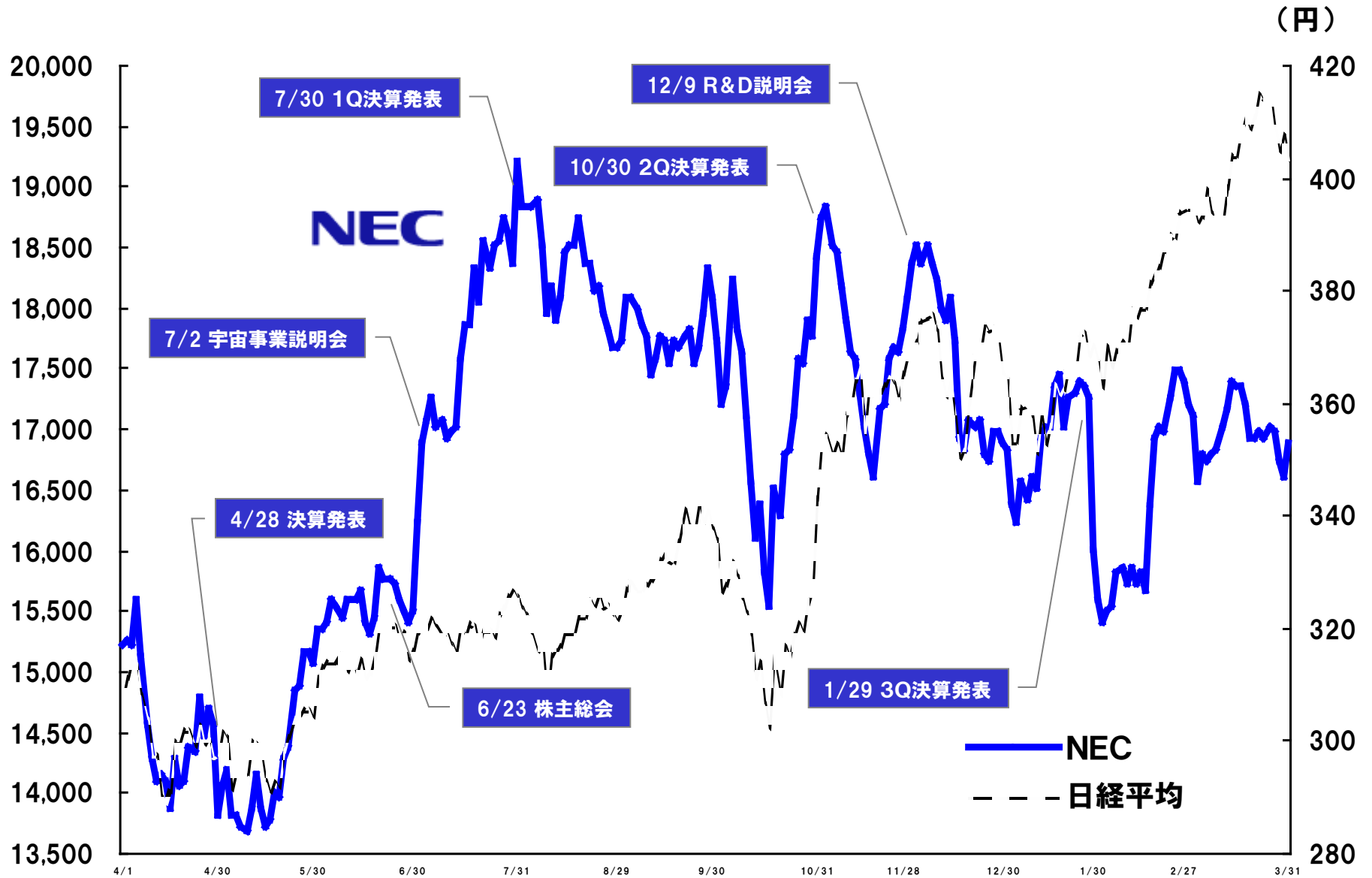
売上高



為替レートの推移



株価の推移



<将来予想に関する注意>

本資料には日本電気株式会社および連結子会社（以下NECと総称します。）の戦略、財務目標、技術、製品、サービス、業績等に関する将来予想に関する記述が含まれています。将来予想は、NECが金融商品取引所や関東財務局長等の規制当局に提出する他の資料および株主向けの報告書その他の通知に記載されている場合があります。NECは、そのような開示を行う場合、将来予想に関するセーフハーバー（safe-harbor）ルールに準拠しています。これらの記述は、現在入手可能な仮定やデータ、方法に基づいていますが、そうした仮定やデータ、方法は必ずしも正しいとは限らず、NECは予想された結果を実現できない場合があります。また、これら将来予想に関する記述は、あくまでNECの分析や予想を記述したものであって、将来の業績を保証するものではありません。このため、これらの記述を過度に信頼することは控えるようお願いいたします。また、これらの記述はリスクや不確定な要因を含んでおり、様々な要因により実際の結果とは大きく異なりうることをあらかじめご了承ください。実際の結果に影響を与える要因には、(1) NECの事業領域を取り巻く国際経済・経済全般の情勢、(2) 市場におけるNECの製品、サービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力、(3) 激しい競争にさらされた市場においてNECが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供し続けていくことができる能力、(4) NECが中国等の海外市場において事業を拡大していく能力、(5) NECの事業活動に関する規制の変更や不透明さ、潜在的な法的責任、(6) 市場環境の変化に応じてNECが経営構造を改革し、事業経営を適応させていく能力、(7) 為替レート（特に米ドルと円との為替レート）の変動、(8) NECが保有する上場株式の減損をもたらす株価下落など、株式市場における好ましくない状況や動向、(9) NECに対する規制当局による措置や法的手続による影響等があります。将来予想に関する記述は、あくまでも公表日現在における予想です。新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、新たな情報、将来の事象その他にかかわらず、NECがこれら将来予想に関する記述を見直すとは限りません。

本資料に含まれる経営目標は、予測や将来の業績に関する経営陣の現在の推定を表すものではなく、NECが事業戦略を遂行することにより経営陣が達成しようと努める目標を表すものです。

本資料に含まれる記述は、有価証券の募集を構成するものではありません。いかなる国・地域においても、法律上証券の登録が必要となる場合は、有価証券の登録を行う場合または登録の免除を受ける場合を除き、有価証券の募集または売出しを行うことはできません。

（注）

当社の連結財務諸表作成に関する会計基準は「日本基準」を採用しています。

年度表記について、2012年度は2013年3月期、2013年度は2014年3月期（以下同様）を表しています。